

A black Traktor Audio 2 interface unit is shown at an angle. It features a large circular logo in the center, a green LED bar labeled 'MAIN' on the left, and a green LED bar with a headphone icon on the right. The top edge has 'TRAKTOR' and 'DC' labels, and the right edge has 'HOST'. The bottom left corner is labeled 'AUDIO 2'. The background is a dark red with a glowing, dotted pattern.

# TRAKTOR AUDIO 2

オペレーション マニュアル



この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購入したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Mac, Mac OS, GarageBand, Logic, iTunes, iPod, iPad, OSX, are registered trademarks of Apple Inc, registered in the U.S. and other countries. iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries, where it is used under license.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

VST and Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

RTAS and Pro Tools are registered trademarks of Avid Technology, Inc., or its subsidiaries or divisions.

All other trade marks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Christian Schulz

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 2.9 (10/2015)

ソフトウェアバージョン: TRAKTOR AUDIO 2 MK2

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

---

**NATIVE INSTRUMENTS GmbH**

Schlesische Str. 29-30

D-10997 Berlin

Germany

[www.native-instruments.de](http://www.native-instruments.de)

**NATIVE INSTRUMENTS North America, Inc.**

6725 Sunset Boulevard

5th Floor

Los Angeles, CA 90028

USA

[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)

**NATIVE INSTRUMENTS K.K.**

YO Building 3F

Jingumae 6-7-15, Shibuya-ku,

Tokyo 150-0001

Japan

[www.native-instruments.co.jp](http://www.native-instruments.co.jp)

**NATIVE INSTRUMENTS UK Limited**

18 Phipp Street

London EC2A 4NU

UK

[www.native-instruments.co.uk](http://www.native-instruments.co.uk)

**NATIVE INSTRUMENTS FRANCE SARL**

113 Rue Saint-Maur

75011 Paris

France

[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)

**SHENZHEN NATIVE INSTRUMENTS COMPANY Limited**

203B & 201B, Nanshan E-Commerce Base Of Innovative  
Services

Shi Yun Road, Shekou, Nanshan, Shenzhen

China

[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)



© Native Instruments GmbH, 2019. 無断複写・転載を禁じます。

---

---

# 目次

<b>1</b>	<b>ようこそ、TRAKTOR AUDIO 2 へ！</b>	<b>8</b>
1.1	本マニュアルについて	8
1.2	セットアップについて	8
1.3	パッケージ内容	9
1.4	マニュアル特定表記について	9
<b>2</b>	<b>システムと電源の動作環境</b>	<b>11</b>
2.1	電源の動作条件	11
2.2	ソフトウェア動作環境	11
<b>3</b>	<b>TRAKTOR AUDIO 2 概観</b>	<b>12</b>
3.1	ハードウェア概観	12
3.2	TRAKTOR AUDIO 2 を使用する(各設定例の紹介)	14
3.2.1	内部ミキサーモードの概要	14
3.2.2	外部ミキサーモードの概要	17
<b>4</b>	<b>コンピューターと共に TRAKTOR AUDIO 2 を使用する</b>	<b>20</b>
4.1	内部ミキサーモード用にシステムを設定する	20
4.1.1	TRAKTOR AUDIO 2 をコンピューターに接続する	20
4.1.2	TRAKTOR AUDIO 2 にヘッドフォンを接続する	21
4.1.3	アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 を接続する	22
4.1.4	TRAKTOR の最終設定	23
4.2	外部ミキサーモード用にシステムを設定する	25
4.2.1	TRAKTOR AUDIO 2 をコンピューターに接続する	25
4.2.2	TRAKTOR AUDIO 2 を DJ ミキサーに接続する	26

---

4.2.3	DJ ミキサーにヘッドフォンを接続する .....	27
4.2.4	アンプシステムと DJ ミキサーを接続する .....	28
4.2.5	TRAKTOR の最終設定 .....	29
<b>5</b>	<b>iOS デバイスと共に TRAKTOR AUDIO 2 を使用する .....</b>	<b>31</b>
5.1	内部ミキサーモード用にシステムを設定する .....	31
5.1.1	TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイ스에接続する .....	31
5.1.2	TRAKTOR AUDIO 2 にヘッドフォンを接続する .....	32
5.1.3	アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 を接続する .....	33
5.1.4	TRAKTOR DJ の最終設定 .....	34
5.2	外部ミキサーモード用にシステムを設定する .....	35
5.2.1	TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイ스에接続する .....	35
5.2.2	TRAKTOR AUDIO 2 を DJ ミキサーに接続する .....	36
5.2.3	DJ ミキサーにヘッドフォンを接続する .....	38
5.2.4	アンプシステムと DJ ミキサーを接続する .....	39
5.2.5	TRAKTOR DJ の最終設定 .....	40
<b>6</b>	<b>コンピューターのデフォルトオーディオアウトプット機器として TRAKTOR AUDIO 2 を使用する .....</b>	<b>43</b>
6.1	Windows でドライバソフトウェアをインストールする .....	44
6.2	TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータに接続する .....	45
6.3	TRAKTOR AUDIO 2 にヘッドフォンを接続する .....	46
6.4	アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 を接続する .....	46
6.5	Mac OS X での最終設定 .....	47
6.6	Windows での最終設定 .....	47

---

---

6.7	音楽ソフトウェアとともにオーディオアウトプット機器として TRAKTOR AUDIO 2 を使用する .....	48
<b>7</b>	<b>TRAKTOR AUDIO 2 の詳細設定 .....</b>	<b>49</b>
7.1	Windows での詳細設定 (コントロールパネル、Control Panel) .....	49
7.1.1	Audio Settings ページ .....	50
7.1.2	Diagnostics ページ .....	53
7.2	Mac OS X での詳細設定 .....	56
<b>8</b>	<b>トラブルシューティングと FAQ .....</b>	<b>58</b>
8.1	ハードウェアに関する問題の解決法 .....	58
8.2	Windows で TRAKTOR AUDIO 2 ドライバが正しくインストールされているか 確認する方法 .....	58
8.3	USB のトラブルシューティング .....	59
8.4	物理的に TRAKTOR AUDIO 2 を再設定する .....	60
8.5	IRQ のチェック (Windows のみ) .....	60
8.6	アップデートインストーラーがインストールフォルダを見つけることができない .....	60
8.7	トラック再生中にクリックや、オーディオドロップアウトが生じる .....	60
8.8	更なるトラブルシューティングの為の資料 .....	61
<b>9</b>	<b>追加資料 .....</b>	<b>62</b>
9.1	各資料について .....	62
9.2	ナレッジベース / リードミー / オンラインサポート .....	62
9.3	フォーラム .....	63
9.4	アップデート .....	63

---

---

10 技術仕様書 .....	64
11 ハードウェア返却 .....	66

# 1 ようこそ、TRAKTOR AUDIO 2 へ！

TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスをご購入いただきありがとうございます。本製品はあらゆるホームスタジオと DJ 環境に最適な究極のハードウェアシステムです。TRAKTOR AUDIO 2 は以下の各機能を装備しています。

- ・ コンピューター、または iOS デバイス用超軽量オーディオインターフェイス
- ・ 24-bit/48 kHz プロサウンドクオリティー
- ・ キューとモニターによる次のトラックの試聴
- ・ 各ミキサーチャンネルに 2 つのステレオトラックを送信
- ・ 2 つの高性能バランスドオーディオアウトプット 1/8" (3.5mm)-端子
- ・ ASIO、Core Audio、Directsound、WASAPI ドライバサポート
- ・ 専用パワーサプライで TA2 のボリュームアウトプットを増幅、iOS デバイスの充電が可能

## 1.1 本マニュアルについて

このマニュアルでは TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスを設定するための基本的な各ステップを解説します。この資料の読後には TRAKTOR AUDIO 2 を TRAKTOR ソフトウェア、TRAKTOR DJ app と共に使用、またコンピューターのデフォルトオーディオアウトプットデバイスとして使用できるようになるでしょう。このガイドを全て読み、内容を把握しておくことをお勧めします。

既に TRAKTOR または TRAKTOR DJ を既にインストールしてある場合は、これらを最新のソフトウェアバージョンにアップデートする必要があります。コンピュータで TRAKTOR をアップデートする方法詳細は TRAKTOR のセットアップガイドを参照してください。iOS デバイスの TRAKTOR DJ をアップデートするには、Apple App Store で最新のバージョンをダウンロードしてください。

使用しているコンピューター、または iOS デバイスを用いて TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスを設定するには、セットアップオプション等の情報を解説している各副セクションを参照してください。

## 1.2 セットアップについて

このセクションでは TRAKTOR AUDIO 2 を起動するまでの各設定内容を簡潔に紹介します。各設定詳細に関してはこのマニュアルの各セクションで解説します。

- ・ **コンピューターで TRAKTOR AUDIO 2 を使用する:** 内部ミキサーモードでは、TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスをコンピューターに接続し、さらにヘッドフォンを接続、アンプシステムにも接続します。外部ミキサーモードの場合は、TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスをコンピューターと DJ ミキサーに接続します。

内部、外部ミキサー各モードに関してはセクション [↑ 3.2, TRAKTOR AUDIO 2 を使用する\(各設定例の](#)



[紹介](#) を参照してください。

コンピューターに TRAKTOR AUDIO 2 を設定する方法詳細は、セクション [↑4, コンピューターと共に TRAKTOR AUDIO 2 を使用する](#) を参照してください。

- ・ **iOS デバイスで TRAKTOR AUDIO 2 を使用する:** 内部ミキサーモードでは、TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスを iOS デバイスに接続し、さらにヘッドフォンを接続、アンプシステムにも接続します。外部ミキサーモードの場合は、TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスを iOS デバイスと DJ ミキサーに接続します。

iOS デバイスに TRAKTOR AUDIO 2 を設定する方法詳細は、セクション [↑5, iOS デバイスと共に TRAKTOR AUDIO 2 を使用する](#) を参照してください。

- ・ **コンピューターのデフォルトオーディオアウトプット機器として TRAKTOR AUDIO 2 を使用する:** TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスをコンピューターに接続し、更にヘッドフォンを接続、アンプシステムにも接続します。その後コンピューターの環境設定で各設定を行います。コンピューターのデフォルトオーディオ機器として TRAKTOR AUDIO 2 を使用する方法に関しては、セクション [↑6, コンピューターのデフォルトオーディオアウトプット機器として TRAKTOR AUDIO 2 を使用する](#) を参照してください。
- ・ **TRAKTOR AUDIO 2 の詳細設定:** TRAKTOR AUDIO 2 の詳細設定項目には Windows では コントロールパネル、OS X ではオーディオと MIDI の設定からアクセスします。各詳細設定項目へのアクセス方法は、セクション [↑7, TRAKTOR AUDIO 2 の詳細設定](#) で確認してください。

## 1.3 パッケージ内容

TRAKTOR AUDIO 2 ボックス内容は以下となっています。

- ・ **TRAKTOR AUDIO 2** オーディオインターフェイス
- ・ **ミニ USB ケーブル**
- ・ TRAKTOR LE 2 ソフトウェアシリアルナンバーを記載した製品登録用用紙には、TRAKTOR AUDIO 2 ハードウェアシリアルナンバーと、ハードウェア製品登録ページのリンクを記載しており、このリンクでハードウェアの登録と、TRAKTOR LE 2 ソフトウェアのダウンロードを行います。
- ・ セーフティーインストラクション用紙

## 1.4 マニュアル特定表記について

本資料では、特定表記専用フォントを使用して特記事項や、危険事項について解説しています。以下の各アイコンで、特記事項内容を区別しています。



このアイコンの後に表記してある内容には、必ず従ってください。



この電球アイコンでは有効なヒントとなる内容を記載してあります。ここではしばしば機能をより効率よく使用するための解決策が記載されていますが、必ずこれを実行しなければならないという内容ではありません。作業効率を図るためには一度確認しておくことをお勧めします。

更に、以下の書式を使用する場合があります。

- ・ 各（ドロップダウン）メニューで表示される内容 (Open…、Save as… 等) 及び、ハードドライブ、またはその他の記録媒体のパスはイタリックで表示されます。
  - ・ 画面に表示される部分に関するテキスト(ボタン、コントロール部、チェックボックス脇のテキスト等) はライトブルーで表示されます。この書体が使用されている場合、同じテキストをコンピュータの画面でも確認できるはずです。
  - ・ ハードウェア自体に表記されている名称はオレンジで表記します。この書体が使用されている場合、同じテキストをハードウェアでも確認できるはずです。
  - ・ 重要な名称とコンセプトは**ボールド体**で表示しています。
1. インストラクションの始めには、それぞれ再生ボタンのような矢印マークが添えてあります。
- ⇒ 操作の結果を示す場合、小さな矢印が添えられます。

## 資料内での各呼称について

本資料では、TRAKTOR AUDIO 2 ハードウェアを “TRAKTOR AUDIO 2” または 短縮して “TA2” と記載します。

## 2 システムと電源の動作環境

### 2.1 電源の動作条件

コンピュータを介して TA2 を使用する場合、機器は USB を介して電源供給されます。

TA2 を iOS デバイスの TRAKTOR DJ と共に使用する場合、電源は iOS デバイスから供給されます。電池のみで iOS デバイスを使用、TA2 を接続すると、非常に多くの電力を消費します。ミックス時間を長く行うには、別売のパワーサプライ (Native Instruments オンラインショップで購入できます) を使用してオーディオインターフェイスに電源を供給するのがいいでしょう。このパワーサプライで接続した iOS デバイスを充電することもできます。

### 2.2 ソフトウェア動作環境

製品を使用するためにコンピューターが必要なと互換性 必要最低限のシステム要件に関しては Native Instruments ウェブサイトの TRAKTOR 仕様セクションを参照してください。

<http://www.native-instruments.com/en/products/traktor/dj-software/traktor-pro-2/specifications/>.

各オペレーションシステムでの互換性を確認するには <http://www.native-instruments.com/compatibility> を参照してください。

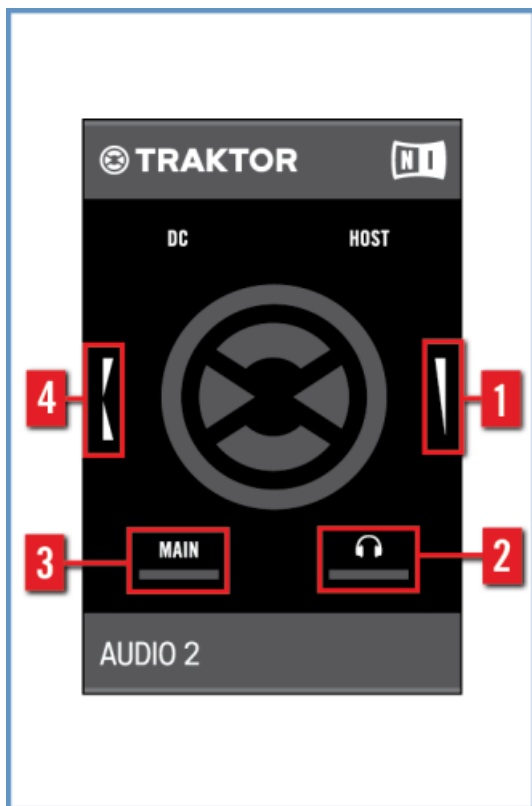
## 3 TRAKTOR AUDIO 2 概観

このセクションでは TA2 のハードウェアコンポーネント各部の概要を紹介します。ここでは内部、外部ミキサーモードの設定方法をコンピューター、iOS デバイスの両方で解説します。

### 3.1 ハードウェア概観

#### トップパネル

以下の図は TA2 のトップパネルです。



TA2 のトップビューです。

(1) **ヘッドフォンボリュームエンコーダー**: このエンコーダーでヘッドフォンアウトプットボリュームを調節します。ソフトウェアを外部ミキサーモードにしてある場合は、このエンコーダーはソフトウェアには無視されます。

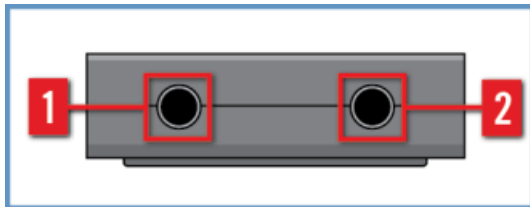
(2) **ヘッドフォンシグナルインジケータ**: この LED がヘッドフォンアウトプットレベルに応じて点灯します。アウトプットレベルが高い程、LED がより明るくなります。

(3) **MAIN シグナルインジケータ**: MAIN アウトプットレベルにあわせてこの LED が点灯します。アウトプットレベルが高い程、LED がより明るくなります。

(4) **キューミックスエンコーダー**: このエンコーダーでヘッドフォン内のミックス具合を設定します。エンコーダーを TA2 の後方に向かって動かすとヘッドフォン内のキュー音声が大きくなります。エンコーダーをユニットの前方に動かすことでヘッドフォン内のメインアウトプット音声が大きくなります。TRAKTOR または TRAKTOR DJ を外部ミキサーモードで使用すると、エンコーダーは使用できない状態となります。

## フロントパネル

以下の図は TA2 のフロントパネルです。



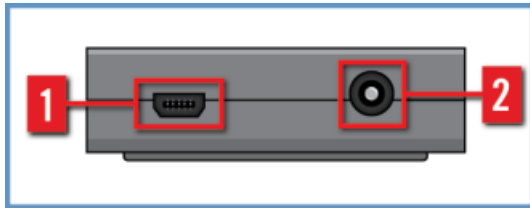
TA2 のフロントパネルです。

(1) **MAIN アウトプット端子**: このステレオ 1/8" 端子で、内部ミキサーモードを使用している場合はスピーカー/アンプシステムに接続、外部ミキサーモードの場合は DJ ミキサーチャンネルに接続します。

(2) **ヘッドフォンアウトプット端子**: このステレオ 1/8" 端子で、内部ミキサーモードを使用している場合はステレオヘッドフォンに接続、外部ミキサーモードの場合は DJ ミキサーチャンネルに接続します。

## リアパネル

以下の図は TA2 のリアパネルです。



TA2 のリアパネルです。

(1) **ミニ USB 端子**: この端子で TRAKTOR AUDIO 2 をコンピューター、または iOS デバイスに接続します。コンピューターに USB 接続することで、データの伝達と TRAKTOR AUDIO 2 への電源供給をまかします。外部電源は必要ありません。



ミニ USB 端子は同封している USB ケーブル専用端子です。同封しているケーブルは TA 2 専用ケーブルとして使用することを推奨します。

(2) **DC 電源端子**: TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイスに対して使用する場合、パワーサプライを使用して iOS デバイスに電源供給することを推奨します。

## 3.2 TRAKTOR AUDIO 2 を使用する(各設定例の紹介)

TRAKTOR AUDIO 2 は TRAKTOR または TRAKTOR DJ の各ミキサーモード (**内部ミキサーモード**と**外部ミキサーモード**) によって使用方法が若干異なります。

両方の使用方法で 2 つのステレオアウトプットを使用することに違いはありませんが、アウトプットに送信されるシグナルが異なります。更に、各ミキサーモードでエンコーダーの機能内容が異なります。詳細は以下のセクション [↑ 3.2.1, 内部ミキサーモードの概要](#)と [↑ 3.2.2, 外部ミキサーモードの概要](#)を参照してください。

更に、TRAKTOR AUDIO 2 は **Windows** と **Mac OS X** の各仕様に対応しています。



Windows ではドライバが必要です。TRAKTOR ソフトウェアをインストールしていない場合は、Native Instruments ウェブサイトでドライバをダウンロードする必要があります。

### 3.2.1 内部ミキサーモードの概要

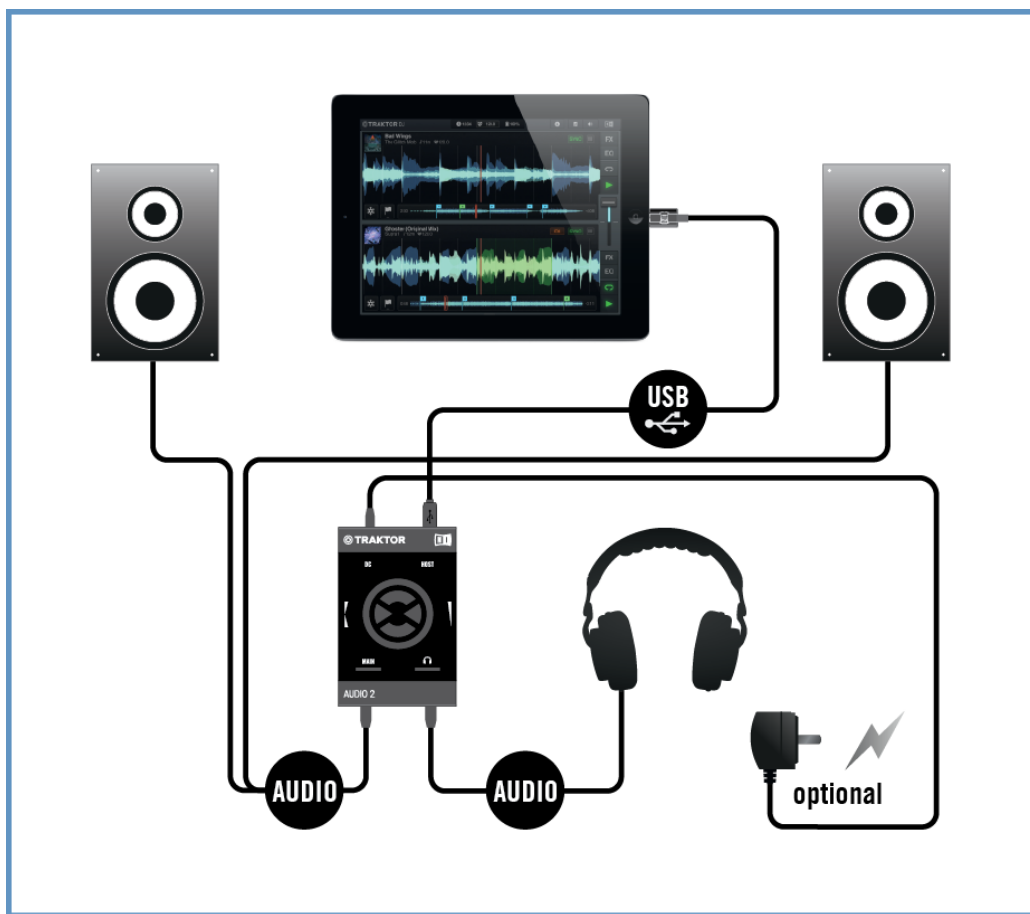
TRAKTOR または TRAKTOR DJ を内部ミキサーモードで使用する場合、MAIN アウトプットはメインミックス専用アウトプットとなり、ヘッドフォンアウトはヘッドフォン専用となります。

2つのエンコーダーがヘッドフォンアウトプットに影響します。一つのエンコーダーでヘッドフォンのボリュームを制御し、もう一つのエンコーダーでキューミックスをコントロールします。ヘッドフォンはヘッドフォンアウトプットに直接接続することで音声を確認するのに用い、MAIN アウトプットを使用して TRAKTOR AUDIO 2 をスピーカー、またはアンプに接続します。以下の図では TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータに接続し、内部ミキサーモードを使用しています。



コンピュータが内部ミキサーモードの状態では TA2 を使用する場合の概観です。

以下の図では TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイスに接続し、内部ミキサーモードを使用しています。



iOS デバイスが内部ミキサーモードの状態では TA2 を使用する場合の概観です。



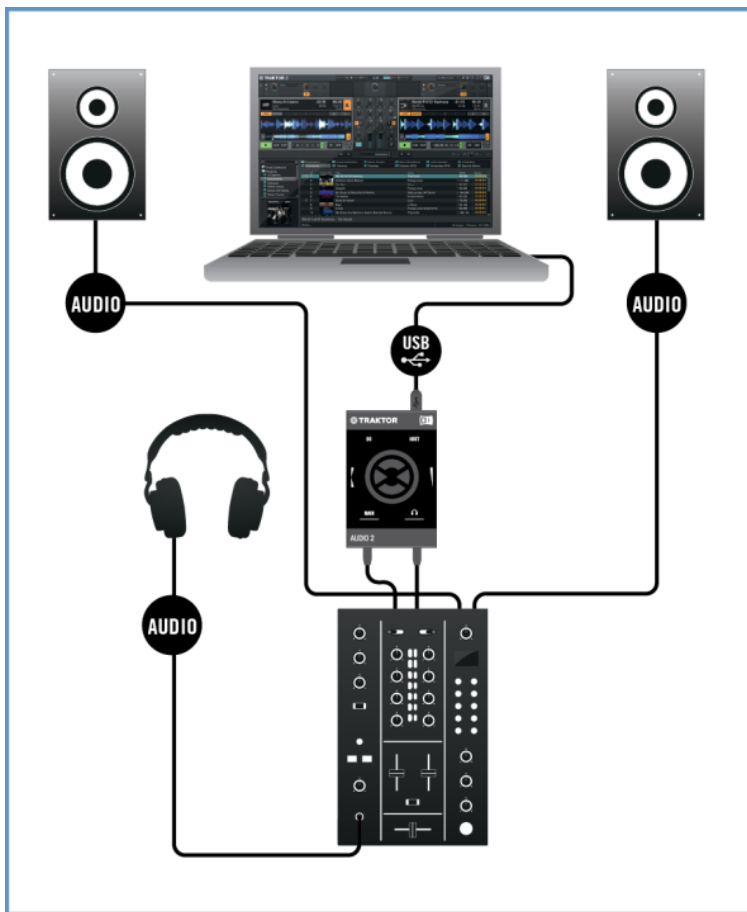
TA2 使用時に iOS デバイスを充電できない場合があります。その場合、iOS デバイスのバッテリーが完全になくなってしまいます。



### 3.2.2 外部ミキサーモードの概要

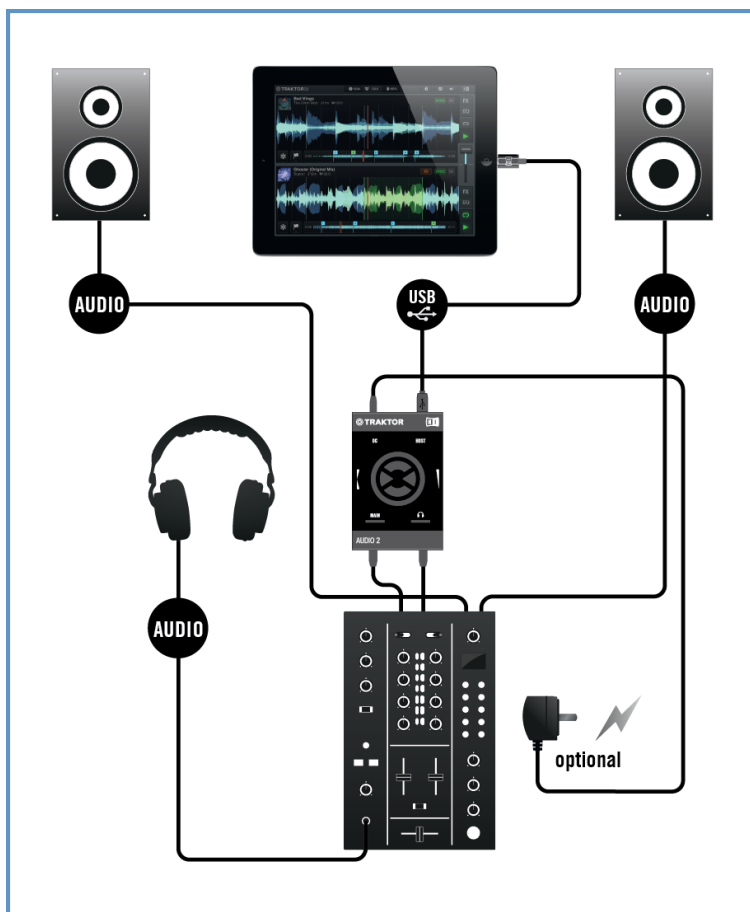
ここでの TRAKTOR AUDIO 2 使用例は TRAKTOR または TRAKTOR DJ を外部 DJ ミキサーと共に使用する場合の内容となります。この場合、MAIN とヘッドフォンアウトプットでは TRAKTOR または TRAKTOR DJ のデッキ音声を伝達します。これらのシグナルは DJ ミキサーの各チャンネルに送信され、使い慣れたハードウェアミキサーでのミックスを可能にします。

TRAKTOR AUDIO 2 のエンコーダーはこのモードでは無効となり、DJ ミキサーの各チャンネルに直接安定した音量のシグナルを送信します。以下の図では TRAKTOR AUDIO 2 をコンピューターに接続し、外部ミキサーモードを使用しています。



コンピューターが外部ミキサーモードの状態では TA2 を使用する場合があります。

以下の図では TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイスに接続し、外部ミキサーモードを使用しています。



iOS デバイスが外部ミキサーモードの状態では TA2 を使用する場合の概観です。



TA2 使用時に iOS デバイスを充電できない場合があります、その場合、iOS デバイスのバッテリーが完全になくなってしまいます。

## 4 コンピューターと共に TRAKTOR AUDIO 2 を使用する

このセクションではコンピューターで 内部ミキサー、外部ミキサー各モード使用する際の TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスの各設定方法を解説します。機器を接続して TRAKTOR AUDIO 2 を設定する前に、確認しておくことがあります。



TA2 をパワーアンプ、ヘッドフォン、スピーカー、等と共に使用することで、聴覚に障害をもたらす音量を生成することがあります。音楽を再生する際は、アンプのボリュームを最小に絞ってあるか確認してください。その後、適切な音量に調節してください。同様に、音量の設定が完了するまでヘッドフォンのボリュームは下げておくとい良いでしょう。

- ・ Windows システムで TRAKTOR を使用する場合は、TRAKTOR を最新のソフトウェアバージョンにアップデートする必要があります。アップデート方法は、TRAKTOR セットアップガイドを参照してください。
- ・ USB ハブに接続すると TA2 が正常に作動しない場合があります。直接コンピュータの USB ポートに接続してください。

### 4.1 内部ミキサーモード用にシステムを設定する

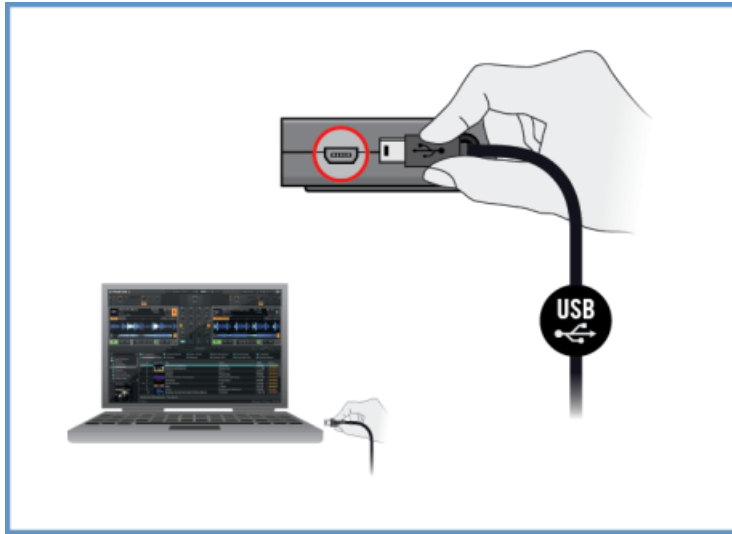
このセクションではコンピューターを内部ミキサーモードにしている場合の TA2 の設定方法を解説します。外部ミキサーモードで TA2 を設定する場合はセクション [↑4.2, 外部ミキサーモード用にシステムを設定する](#)に進んでください。

#### 4.1.1 TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータに接続する

TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータに接続する方法は以下です。

1. ミニ USB ケーブルのミニ USB コネクタを TRAKTOR AUDIO 2 のリアパネルのミニ USB 端子に接続してください。

2. ミニ USB ケーブルのコンピュータ接続用端子をコンピュータの USB ポートに接続します。



### Windows ユーザーのみ: デバイスドライバインストールの完了作業

新規ハードウェアの検知により、Windows 機器ドライバインストール作業を完了します。

- ・ Installing device driver software (機器ドライバソフトウェアをインストール中です)といった内容のメッセージが表示されます。
- ・ 機器ドライバインストールが終了すると、Windows が“Your devices are ready to use(機器の使用が可能な状態となりました)”といった内容のメッセージが表示されます。

### 4.1.2 TRAKTOR AUDIO 2 にヘッドフォンを接続する

TRAKTOR AUDIO 2 とヘッドフォンを接続する方法は以下です。

1. TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにあるヘッドフォンアウトブット端子にヘッドフォンを接続します。

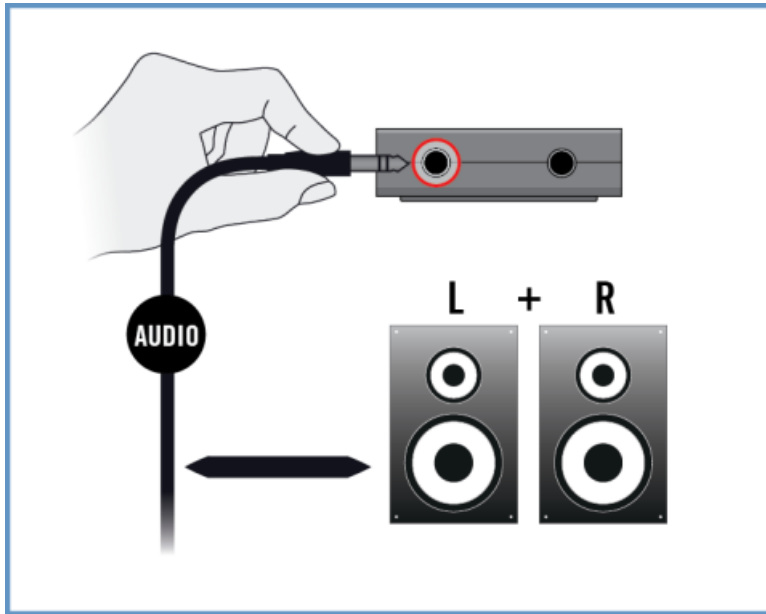


### 4.1.3 アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 を接続する

TRAKTOR AUDIO 2 をパワーアンプやアクティブスピーカーに接続する方法は以下です。

1. アンプシステムの電源を落としてください。

2. アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにある MAIN アウトプット 端子を適切なケーブルを用いて接続します。



#### 4.1.4 TRAKTOR の最終設定

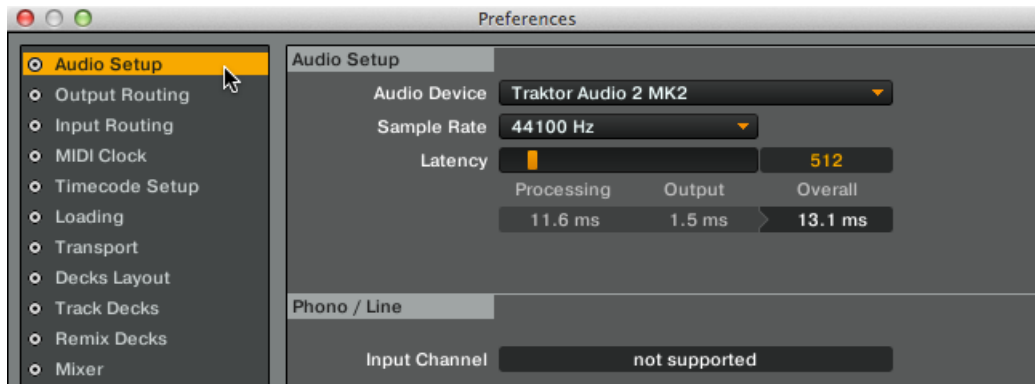
TRAKTOR ソフトウェアを内部ミキサーモードに設定する方法は以下となります。

1. TRAKTOR を起動してください。
2. TRAKTOR 画面の左上隅の環境設定アイコンにある TRAKTOR 環境設定 (Preferences) ダイアログを開きます。

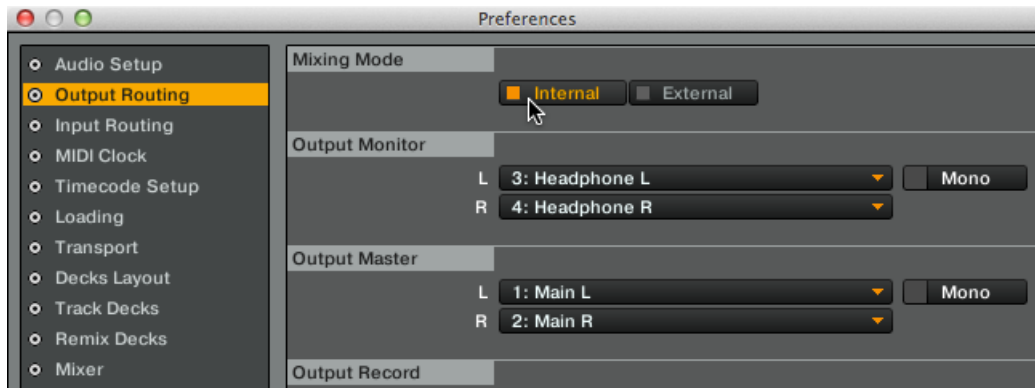


3. Audio Setup タブを選択します。

4. Audio device ドロップダウンメニューで Traktor Audio 2 MK2 (Traktor Audio 2 MK2 (ASIO)、Windows) を選択しているか確認します。



5. Output Routing タブを選択します。
6. Mixing Mode セクションで Internal が選択してあるか確認します。デッキ A と B は自動的にアウトプットに送信され、TA2 での操作もこれらのチャンネルに対応します。



7. Close ボタンをクリックします。
- ⇒ これで TRAKTOR が内部ミキサーモードとなります。ここまで行えば、TRAKTOR にトラックをロードし、ソフトウェアでミックスを開始することが可能となります。



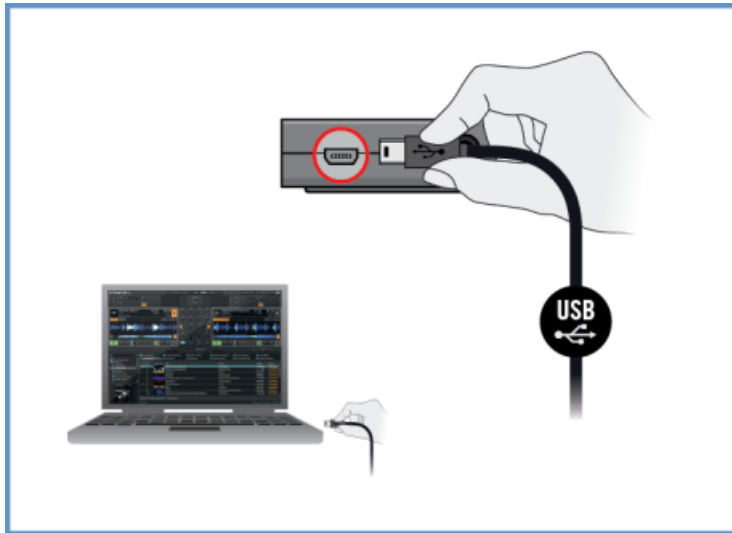
## 4.2 外部ミキサーモード用にシステムを設定する

このセクションでは外部ミキサーモードにしている場合のコンピューターでの TA2 の設定方法を解説します。内部ミキサーモードで TA2 を設定する場合はセクション [↑4.1, 内部ミキサーモード用にシステムを設定する](#) を参照してください。

### 4.2.1 TRAKTOR AUDIO 2 をコンピューターに接続する

TRAKTOR AUDIO 2 をコンピューターに接続する方法は以下です。

1. ミニ USB ケーブルのミニ USB コネクタを TRAKTOR AUDIO 2 のリアパネルのミニ USB 端子に接続してください。
2. ミニ USB ケーブルのコンピュータ接続用端子をコンピューターの USB ポートに接続します。



### Windows ユーザーのみ: デバイスドライバインストールの完了作業

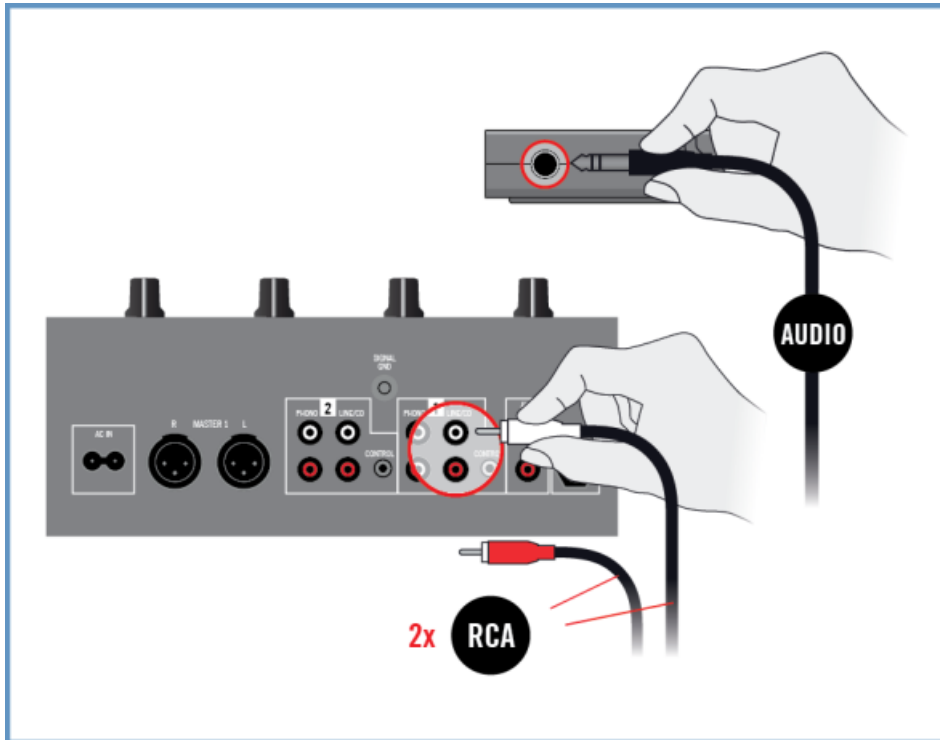
新規ハードウェアの検知により、Windows 機器ドライバインストール作業を完了します。

- ・ Installing device driver software (機器ドライバソフトウェアをインストール中です) といった内容のメッセージが表示されます。
- ・ 機器ドライバインストールが終了すると、Windows が “Your devices are ready to use (機器の使用が可能な状態となりました)” といった内容のメッセージが表示されます。

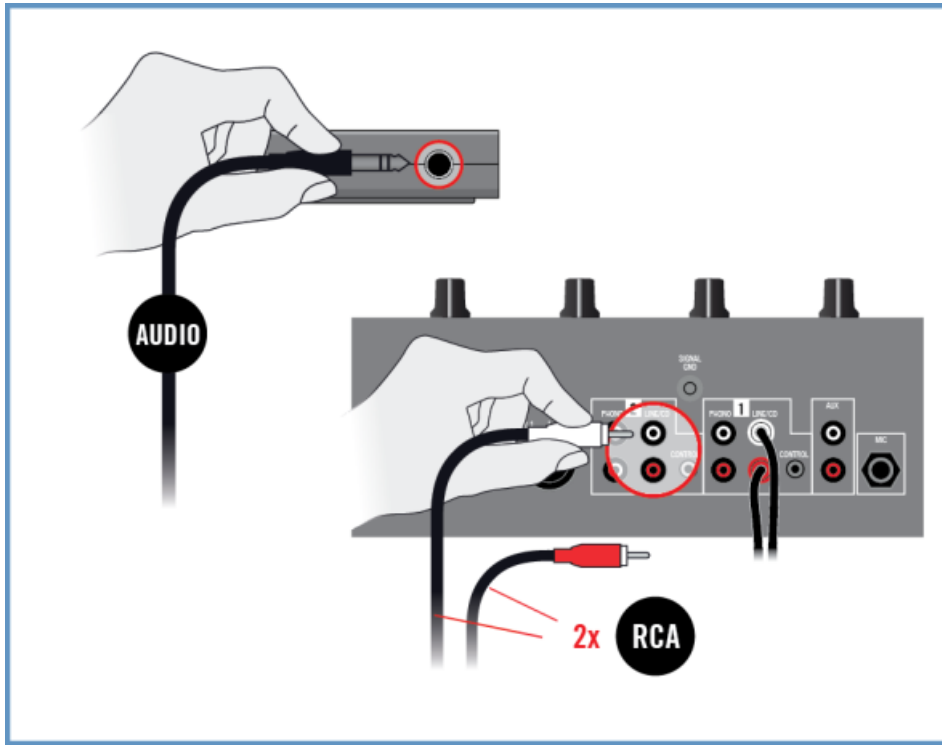
## 4.2.2 TRAKTOR AUDIO 2 を DJ ミキサーに接続する

TRAKTOR AUDIO 2 をミキサーに接続する方法は以下です。

1. DJ ミキサーの電源を落としてください。
2. TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにある MAIN アウトプットと DJ ミキサーのデッキ A の Line/CD チャンネルを 1/8"-to-RCA ケーブルを用いて接続します。



3. TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにあるヘッドフォンアウトブットと DJ ミキサーのデッキ B の Line/CD チャンネルを 1/8"-to-RCA ケーブルを用いて接続します。



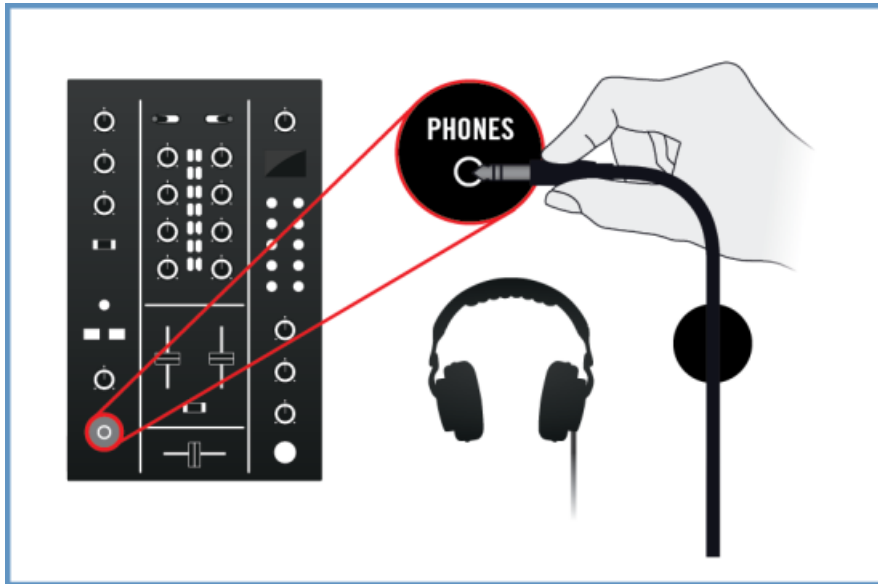
### 4.2.3 DJ ミキサーにヘッドフォンを接続する



ヘッドフォンを接続する際は常に、DJ ミキサーのヘッドフォンボリュームを最小に設定してから行ってください。

以下の方法で DJ ミキサーにヘッドフォンを接続します。

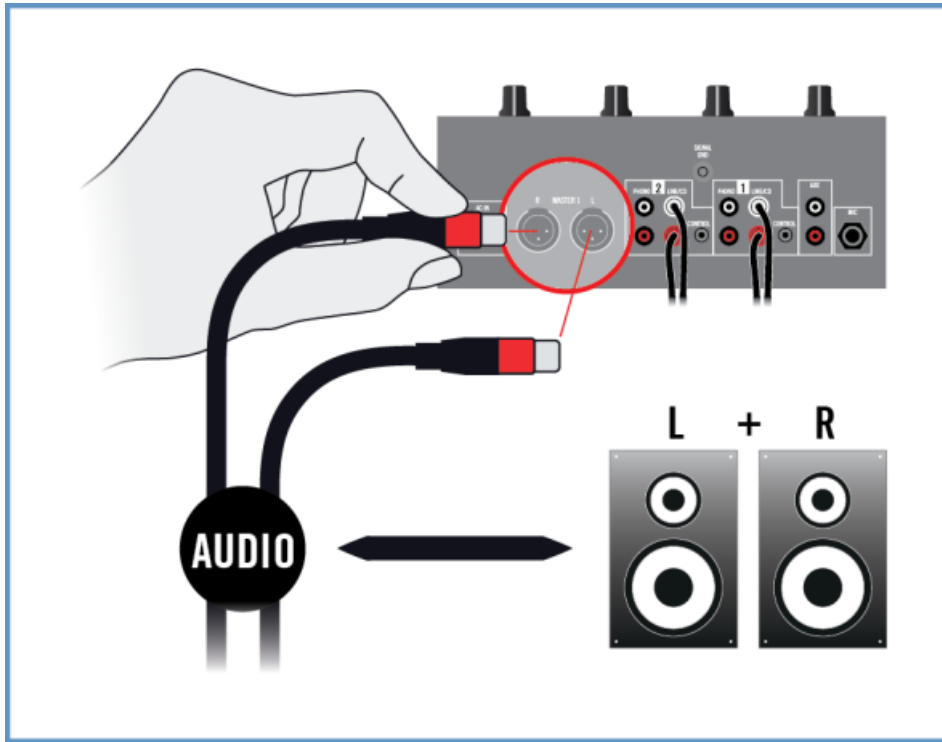
1. ヘッドフォンを DJ ミキサーのヘッドフォン端子 (殆どの場合 "Headphones" または "Phones" と明記してあります) に接続します。



#### 4.2.4 アンプシステムと DJ ミキサーを接続する

以下の方法でアンプシステム/アクティブスピーカーと DJ ミキサーを接続します。

1. DJ ミキサーの Main または Master アウトプットとアンプシステムのインプットを適切なケーブルを用いて接続します。



#### 4.2.5 TRAKTOR の最終設定

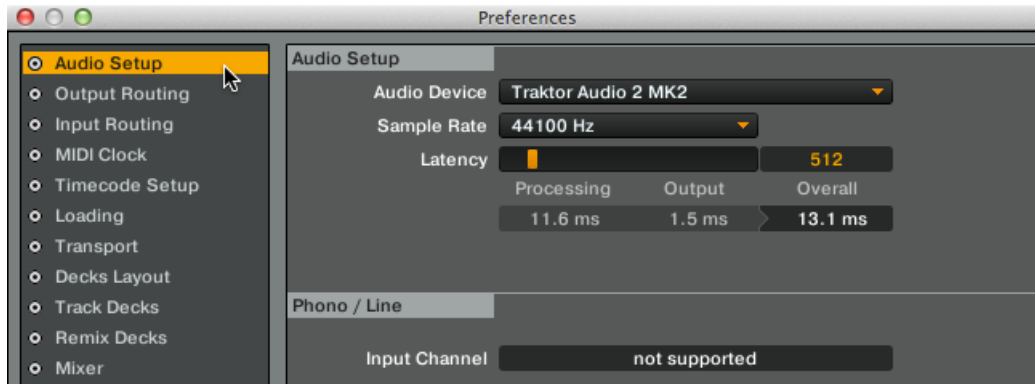
TRAKTOR ソフトウェアを外部ミキサーモードに設定する方法は以下となります。

1. TRAKTOR を起動してください。
2. TRAKTOR 画面の左上隅の環境設定アイコンにある TRAKTOR 環境設定 (Preferences) ダイアログを開きます。

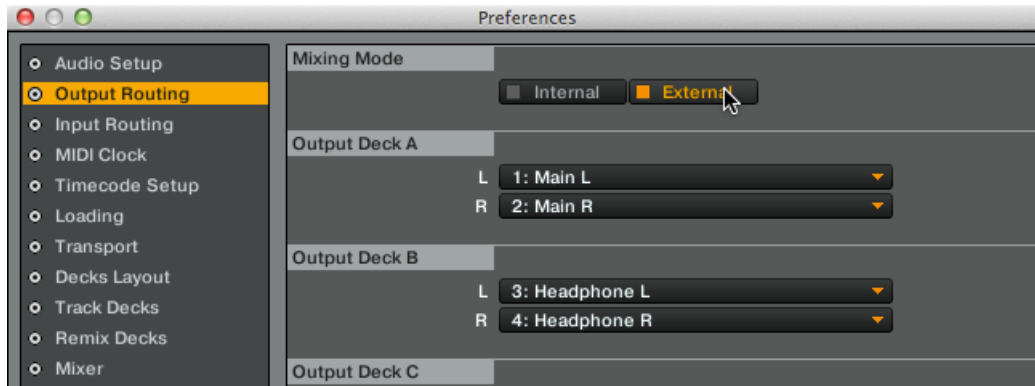


3. Audio Setup タブを選択します。

4. Audio device ドロップダウンメニューで Traktor Audio 2 MK2 (Traktor Audio 2 MK2 (ASIO)、Windows) を選択しているか確認します。



5. Output Routing タブを選択します。
6. Mixing Mode セクションで External を選択して外部ミキサーモードにします。デッキ A と B は自動的にアウトプットに送信され、TA2 での操作もこれらのチャンネルに対応します。



7. Close ボタンをクリックします。  
⇒ これで TRAKTOR が外部ミキサーモードとなります。ここまで行えば、TRAKTOR にトラックをロードし、TA2 と DJ ミキサーでミックスを開始することが可能となります。

## 5 iOS デバイスと共に TRAKTOR AUDIO 2 を使用する

このセクションでは iOS デバイスで内部ミキサー、外部ミキサー各モード使用する際の TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスの各設定方法を解説します。機器を接続して TRAKTOR AUDIO 2 を設定する前に、確認しておくことがあります。



TA2 をパワーアンプ、ヘッドフォン、スピーカー、等と共に使用することで、聴覚に障害をもたらす音量を生成することがあります。音楽を再生する際は、アンプのボリュームを最小に絞ってあるか確認してください。その後、適切な音量に調節してください。同様に、音量の設定が完了するまでヘッドフォンのボリュームは下げておくとい良いでしょう。

- ・ TA2 を iOS デバイスに接続する前に最新バージョンの TRAKTOR DJ app がダウンロードしてあるか確認してください。TRAKTOR DJ は iTunes App Store からダウンロードできます。TRAKTOR DJ を使用可能な iOS デバイスの確認は Native Instruments ウェブサイトの TRAKTOR DJ 仕様セクションを参照してください。 <http://www.native-instruments.com/en/products/traktor/traktor-for-ios/traktor-dj/>.
- ・ TA2 は iOS デバイスの電源を使用します。TRAKTOR DJ を使用する際は、iOS デバイスの電池消耗が大きいため、iOS デバイスの電池は 1 時間から 2 時間の間でなくなります。演奏時間を長時間継続するには、TA2 にパワーサプライを接続することを推奨します。パワーサプライは TA2 だけではなく、接続した iOS デバイスにも電力を供給します。

### 5.1 内部ミキサーモード用にシステムを設定する

このセクションでは iOS を内部ミキサーモードにしている場合の TA2 の設定方法を解説します。外部ミキサーモードで TA2 を設定する場合はセクション [↑5.2, 外部ミキサーモード用にシステムを設定する](#) に進んでください。

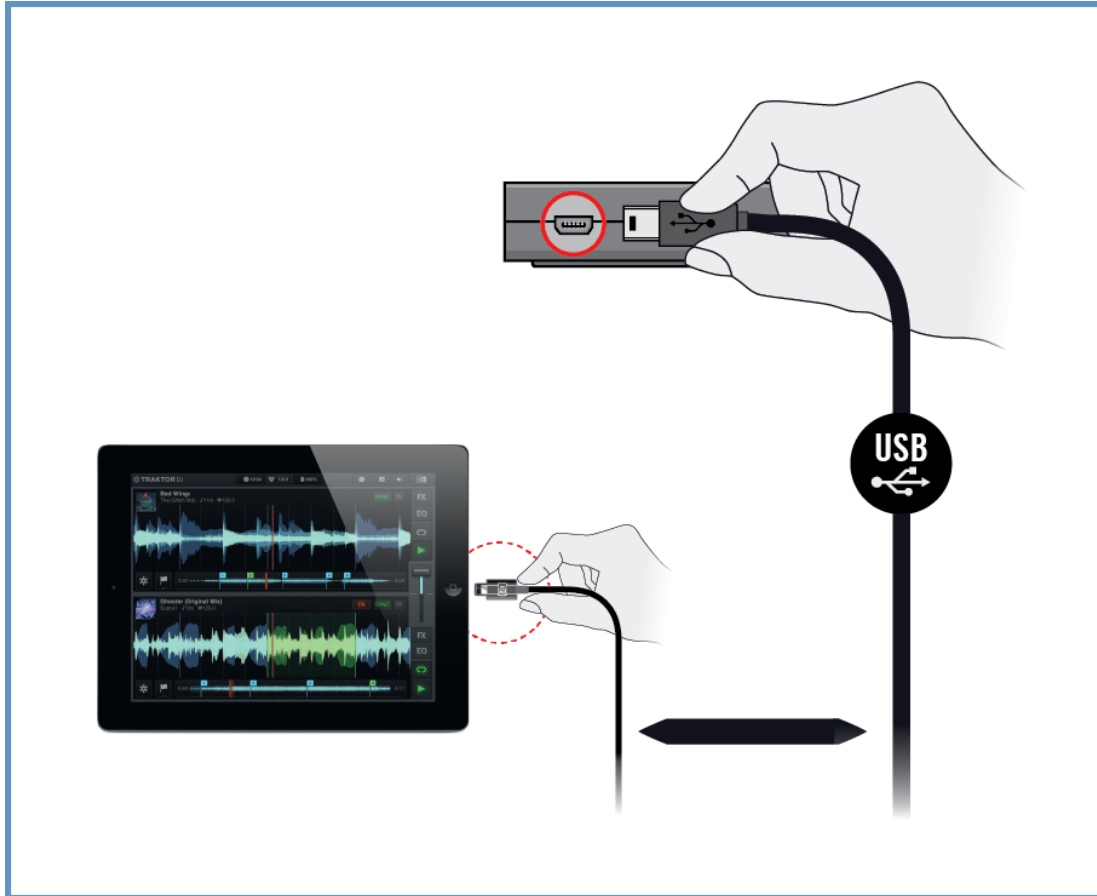
#### 5.1.1 TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイスに接続する



オプションパワーサプライを使用する場合は TRAKTOR AUDIO 2 に接続し、電源を入れてから TRAKTOR DJ を起動してください。起動中に電源を接続すると一時的にオーディオドロップアウトが生じる場合があります。

TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイスに接続する方法は以下となります。

1. iOS デバイスコネクションケーブルのミニ USB コネクターを TRAKTOR AUDIO 2 のリアパネルのミニ USB 端子に接続してください。
2. iOS デバイス接続ケーブルの Lightning コネクターを iOS デバイスの Lightning コネクターに接続します。



### 5.1.2 TRAKTOR AUDIO 2 にヘッドフォンを接続する

TRAKTOR AUDIO 2 とヘッドフォンを接続する方法は以下です。



1. ヘッドフォンを TRAKTOR AUDIO 2 のヘッドフォンアウトプット端子に接続してください。

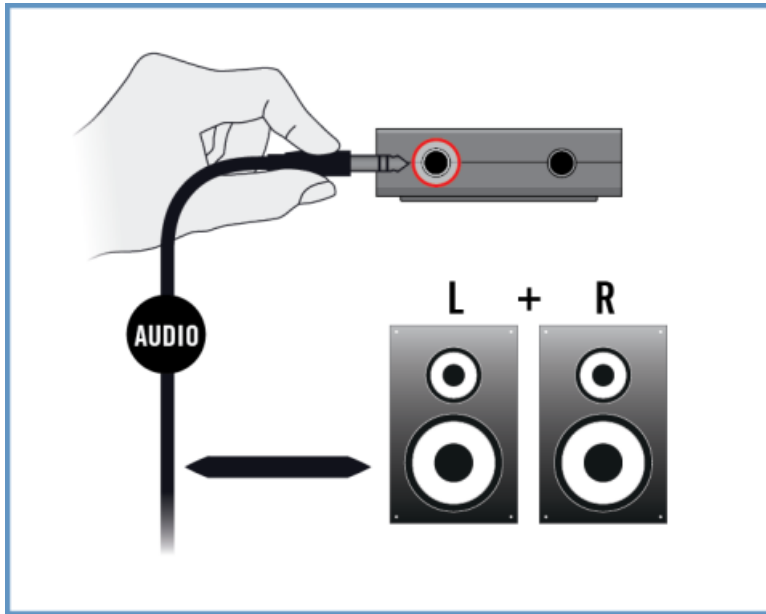


### 5.1.3 アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 を接続する

TRAKTOR AUDIO 2 をパワーアンプやアクティブスピーカーに接続する方法は以下です。

1. アンプシステムの電源を落としてください。

2. アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにある MAIN アウトプット 端子を適切なケーブルを用いて接続します。



#### 5.1.4 TRAKTOR DJ の最終設定

内部ミキサーモードは TRAKTOR DJ を TRAKTOR AUDIO 2 オーディオインターフェイスと共に使用することでデフォルトで内部ミキサーモードが起動します。メインミックスとヘッドフォンキューは自動的に TA2 のアウトプットに設定されます。TRAKTOR DJ でこれ以上の設定を行う必要はありません。



オプションパワーサプライを使用する場合は、TRAKTOR AUDIO 2 と電源部に接続してあるか確認してください。

TRAKTOR DJ と TRAKTOR AUDIO 2 を内部ミキサーモードで使用する場合

1. iOS デバイスの電源を入れてください。
  2. iOS デバイス上で TRAKTOR DJ アプリのアイコンをタップして起動します。  
TRAKTOR DJ は TA2 と共に使用することで自動的に内部ミキサーモードで設定されます。
- ⇒ ここまで行えば、TRAKTOR DJ のデッキにトラックをロードし、ミックスを開始することが可能となります。



ヘッドフォンを接続する際は常に、ヘッドフォンボリュームコントロールを最小にしてから行ってください。その後音声を再生して徐々に音量を上げて適切な音量にしてください。

## 5.2 外部ミキサーモード用にシステムを設定する

このセクションでは iOS を外部ミキサーモードにしている場合の TA2 の設定方法を解説します。内部ミキサーモードで TA2 を設定する場合はセクション [↑5.1, 内部ミキサーモード用にシステムを設定する](#) を参照してください。

### 5.2.1 TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイスに接続する

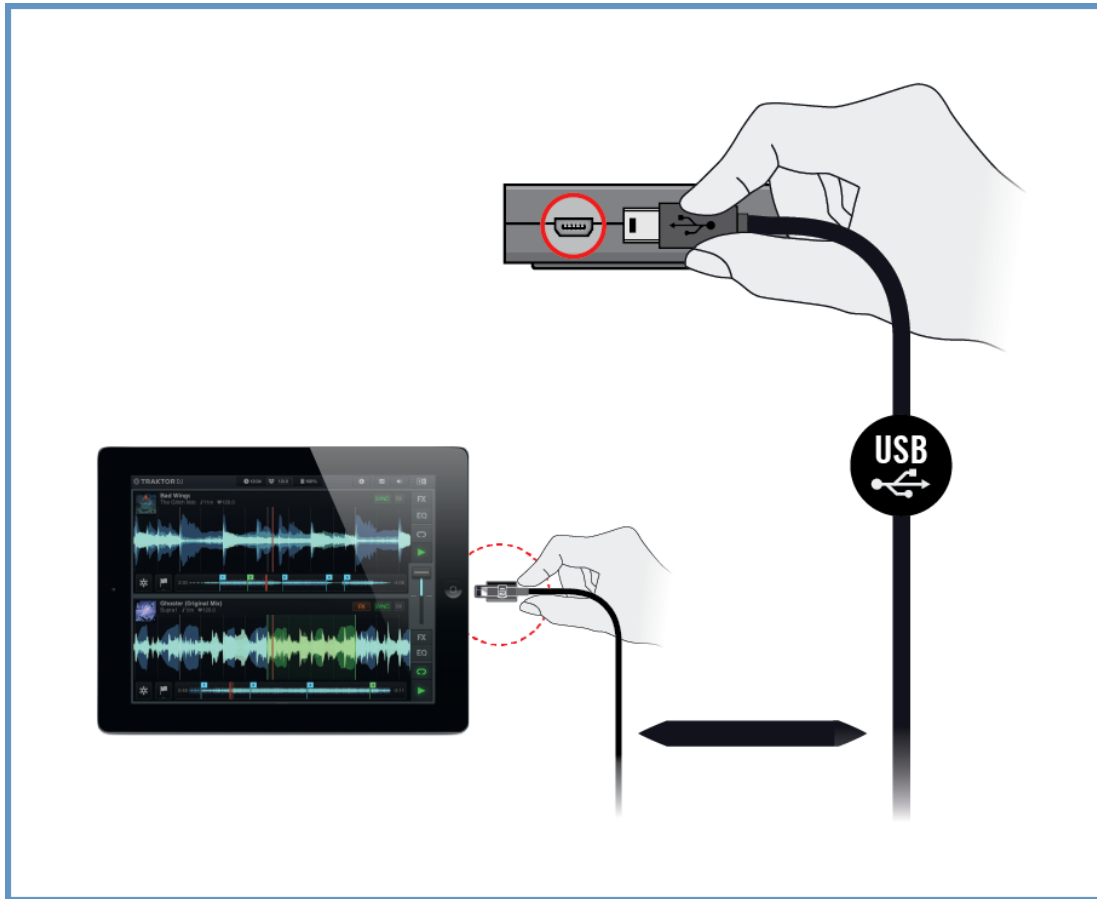


オプションパワーサプライを使用する場合は TRAKTOR AUDIO 2 に接続し、電源を入れてから TRAKTOR DJ を起動してください。起動中に電源を接続すると一時的にオーディオドロップアウトが生じる場合があります。

TRAKTOR AUDIO 2 を iOS デバイスに接続する方法は以下となります。

1. iOS デバイスコネクションケーブルのミニ USB コネクタを TRAKTOR AUDIO 2 のリアパネルのミニ USB 端子に接続してください。

2. iOS デバイス接続ケーブルの Lightning コネクタを iOS デバイスの Lightning コネクタに接続します。

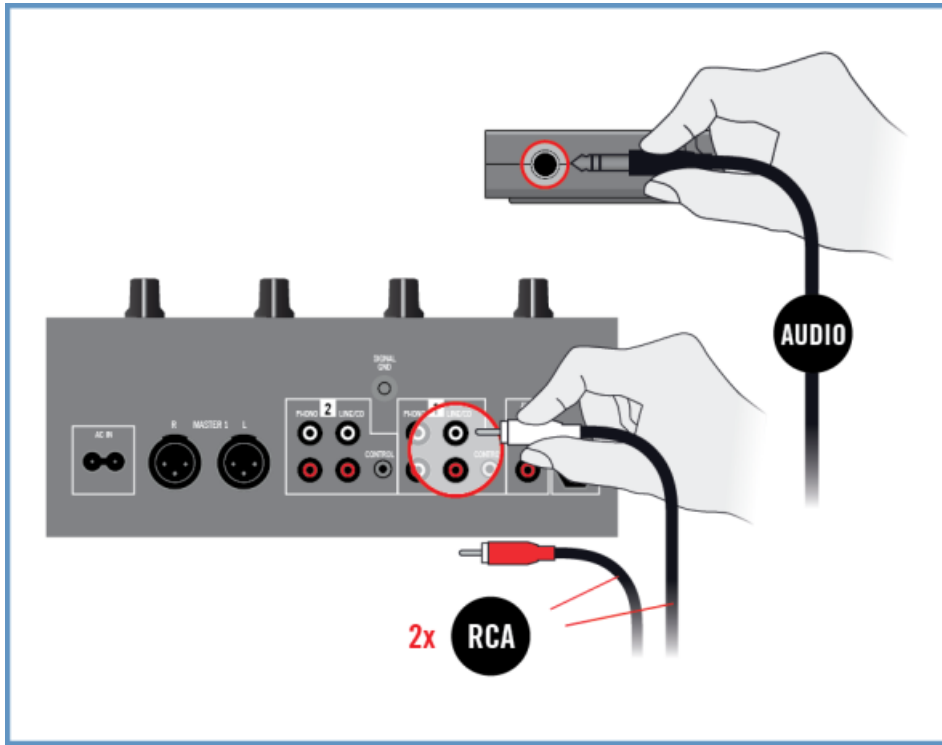


## 5.2.2 TRAKTOR AUDIO 2 を DJ ミキサーに接続する

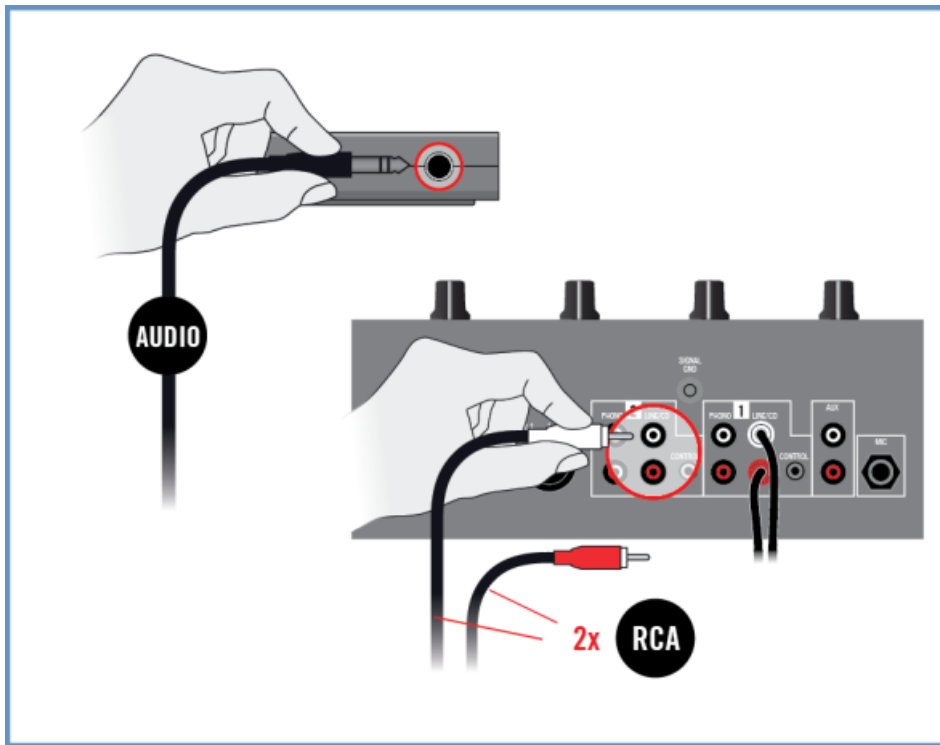
TRAKTOR AUDIO 2 を DJ ミキサーに接続する方法は以下です。

1. DJ ミキサーの電源を落としてください。

2. TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにある MAIN アウトプット端子と DJ ミキサーのデッキ A の Line/CD チャンネルを 1/8"-to-RCA ケーブルを用いて接続します。



3. TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにあるヘッドフォンアウトポート端子と DJ ミキサーのデッキ B の Line/CD チャンネルを  $\frac{1}{8}$ "-to-RCA ケーブルを用いて接続します。



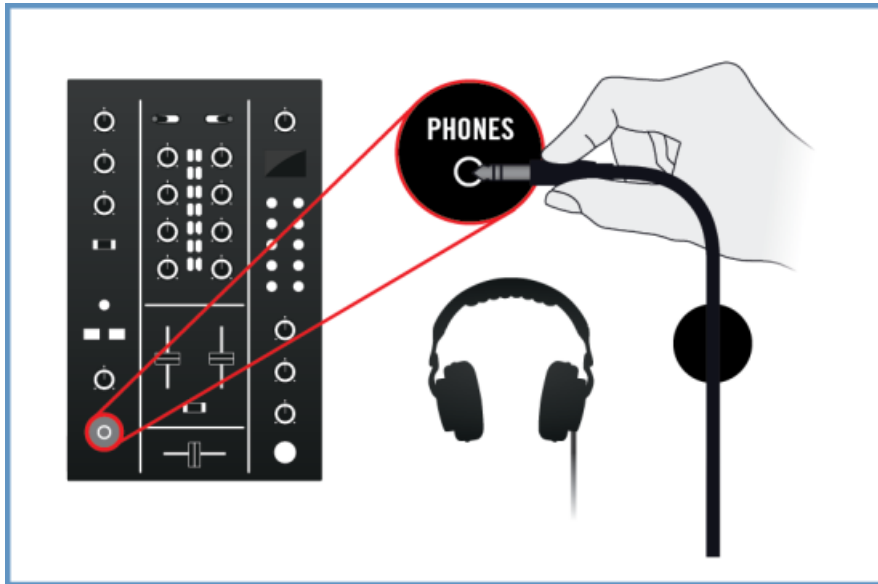
### 5.2.3 DJ ミキサーにヘッドフォンを接続する



ヘッドフォンを接続する際は常に、DJ ミキサーのヘッドフォンボリュームを最小に設定してから行ってください。

以下の方法で DJ ミキサーにヘッドフォンを接続します。

1. ヘッドフォンをミキサーのヘッドフォン端子(殆どの場合 "Headphones" または "Phones" と明記してあります)に接続します。

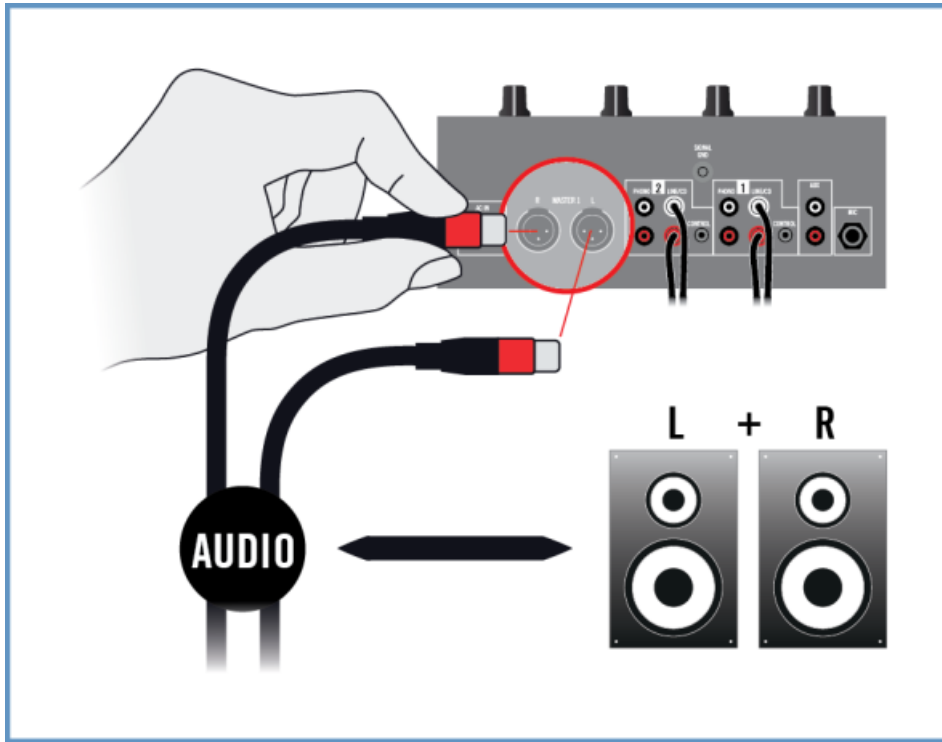


#### 5.2.4 アンプシステムと DJ ミキサーを接続する

DJ ミキサーとパワーアンプやアクティブスピーカーを接続する方法は以下です。

1. アンプシステムの電源を落としてください。

2. DJ ミキサーの Main または Master アウトプットとアンプシステムのインプットを適切なケーブルを用いて接続します。



### 5.2.5 TRAKTOR DJ の最終設定



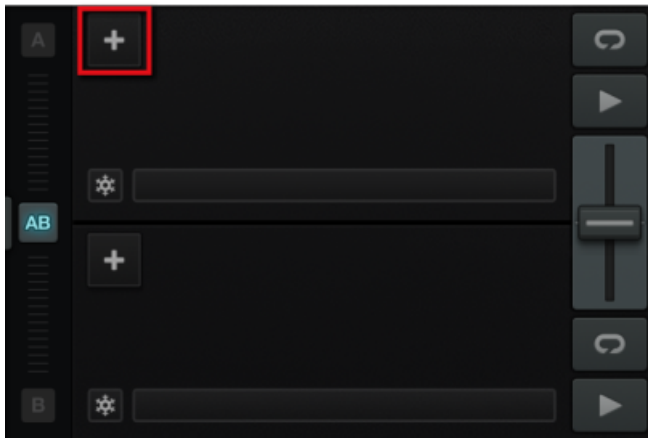
オプションパワーサプライを使用する場合は、TRAKTOR AUDIO 2 と電源部に接続してあるか確認してください。

外部ミキサーモードで TRAKTOR DJ と TRAKTOR AUDIO 2 によるミックスを始める際は、機器の電源を入れる際に以下の順序に沿ってください。その間、必要な最終設定を行います。

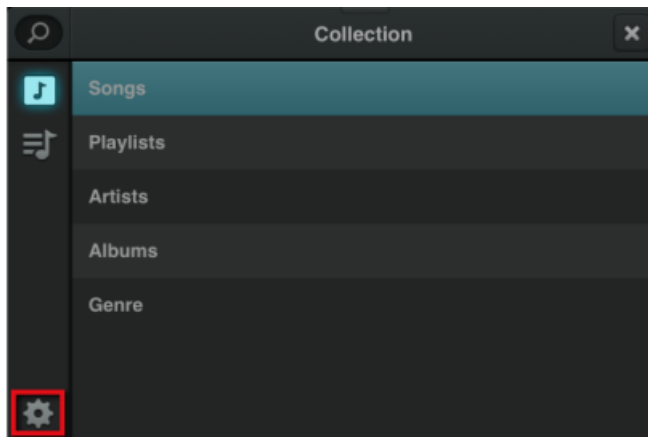
1. iOS デバイスを起動します。
2. iOS デバイス上で TRAKTOR DJ アプリのアイコンをタップして起動します。



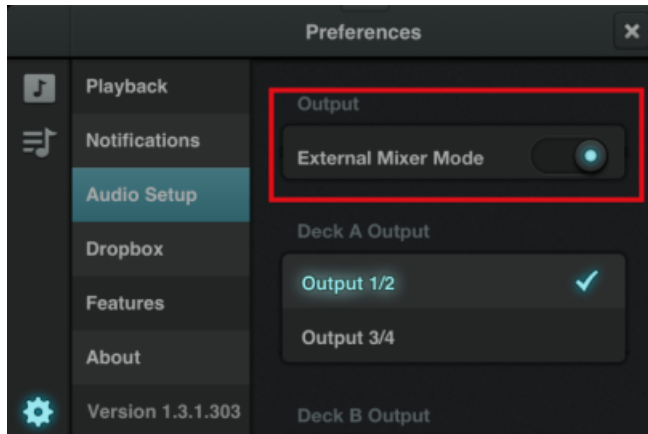
3. TRAKTOR DJ でデッキ A または B にあるプラスアイコンをタップしてブラウザメニューを表示します。



4. 環境設定 (preferences) アイコンをタップして環境設定ダイアログを開きます。



5. Audio Setup タブを選択し、Output オプションで External Mixer Mode を起動します。



6. 環境設定（Preferences）メニューを閉じます。
7. DJ ミキサーの電源を入れます。
8. アンプシステムの電源を入れます。
- ⇒ ここまで行えば、TRAKTOR DJ のデッキにトラックをロードし、外部 DJ ミキサーでミックスを開始することが可能となります。



その後 TRAKTOR DJ が起動している状態で TRAKTOR DJ のデッキにトラックをロードし、音楽を再生して徐々にアンプシステムの音量を上げ、最適な状態に設定します。

## 6 コンピューターのデフォルトオーディオアウトプット機器として TRAKTOR AUDIO 2 を使用する

TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータのデフォルトオーディオアウトプット機器として設定するには、システムのオーディオ設定項目で本機器を選択する必要があります。以下のセクションでは、TRAKTOR AUDIO 2 を使用しているコンピュータのデフォルトオーディオアウトプット機器として指定する方法を解説します。TRAKTOR AUDIO 2 を使用している音楽ソフトウェアのオーディオアウトプット機器として使用するには、セクション [↑6.7, 音楽ソフトウェアとともにオーディオアウトプット機器として TRAKTOR AUDIO 2 を使用する](#) の解説を参照してください。

TA2 をコンピューターのデフォルトオーディオアウトプット機器として設定する前にいくつか確認することがあります。



TA2 をパワーアンプ、ヘッドフォン、スピーカー、等と共に使用することで、聴覚に障害をもたらす音量を生成することがあります。音楽を再生する際は、アンプのボリュームを最小に絞ってあるか確認してください。その後、適切な音量に調節してください。同様に、音量の設定が完了するまでヘッドフォンのボリュームは下げておくとういでしょう。

- ・ TRAKTOR を Windows システムで使用する際は、TA2 ハードウェアドライバと最新の TRAKTOR ソフトウェアがインストールしてあるか確認、または以下のセクション [↑6.1, Windows でドライバソフトウェアをインストールする](#) で解説するように TA2 をコンピュータに接続する前に TA2 ハードウェアドライバをダウンロード、インストールする必要があります。
- ・ USB ハブに接続すると TA2 が正常に作動しない場合があります。直接コンピュータの USB ポートに接続してください。
- ・ TA2 ヘッドフォンアウトプットはデフォルトで自動的にメインシグナルをモニターするので、コンピュータのスピーカーを TA2 の MAIN アウトプット、ヘッドフォンはヘッドフォンアウトプット端子に接続することを推奨します。



デフォルトで音声は MAIN とヘッドフォンアウトプットに送信されます。ヘッドフォンとコンピュータのスピーカーを同時に接続し、これ以上の設定を行う必要はないので TA2 を簡単に取り扱うことができるようになります。キューミックスエンコーダーはデフォルトでヘッドフォンアウトプットでメインシグナルをモニターするように設定されます。これでスピーカーの音量調節を行うことでコンピュータのスピーカー音量の調節ができるようになります。ヘッドフォンのボリューム調節は TA2 のヘッドフォンボリュームエンコーダーで行います。

## 6.1 Windows でドライバソフトウェアをインストールする

このセクションでは TRAKTOR ソフトウェアをインストールしていない状態で TRAKTOR AUDIO 2 ハードウェアドライバをインストールする方法について解説します。TRAKTOR AUDIO 2 は MAC OS X 上では専用ドライバを必要としません。TRAKTOR AUDIO 2 を Mac コンピューターで使用する場合は [↑6.2, TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータに接続する](#)に進んでください。Windows を使用して TRAKTOR AUDIO 2 ドライバをインストールする場合は、このセクションを読み進めてください。インストールを始める前に、注意点をあげておきます。

- ・ 製品登録ページのインストラクションに従って、**コンピュータにソフトウェアをダウンロードしたか確認**してください。

[www.native-instruments.com/go-ta2](http://www.native-instruments.com/go-ta2)

更に以下のウェブページからダウンロードすることも可能です。[TRAKTOR AUDIO 2](#)

- ・ **インストールスクリーンを注意深く読み**、ハードディスク内に不必要なフォルダが作成されるのを防ぐ為にインストール先となるパスを十分に確認します。
- ・ Native Instruments ソフトウェアに**関係するフォルダをインストール後に移動することは推奨しません**。後に行われるソフトウェアアップデートは初期インストールの時点で使用したディレクトリを参照します。

使用しているコンピュータで TRAKTOR AUDIO 2 を安定した状態で使用する為に、ドライバインストール時に以下の 2 つのプログラムが自動的にインストールされます。

- ・ **TRAKTOR AUDIO 2 ドライバ** このプログラムによってオーディオインターフェイスとコンピュータが連動します。
- ・ **コントロールパネルソフトウェア**: Windows では、コントロールパネルソフトウェアでパフォーマンス設定、プリアンプ設定、パフォーマンス診断、サウンドカードのポート設定を行います。

### ドライバソフトウェアインストールプログラムを確認し、起動する



インストール時に使用しているアンチウィルスソフトウェアを解除する必要がある場合があります。詳細は各ソフトウェアの資料を参照してください。



インストーラーの起動は Administrator privileges (管理者特権) がある状態で行ってください。インストールファイルを右クリックし、Run as administrator ショートカットを選択してください。

Windows に TRAKTOR AUDIO 2 ドライバソフトウェアをインストールする方法は以下です。

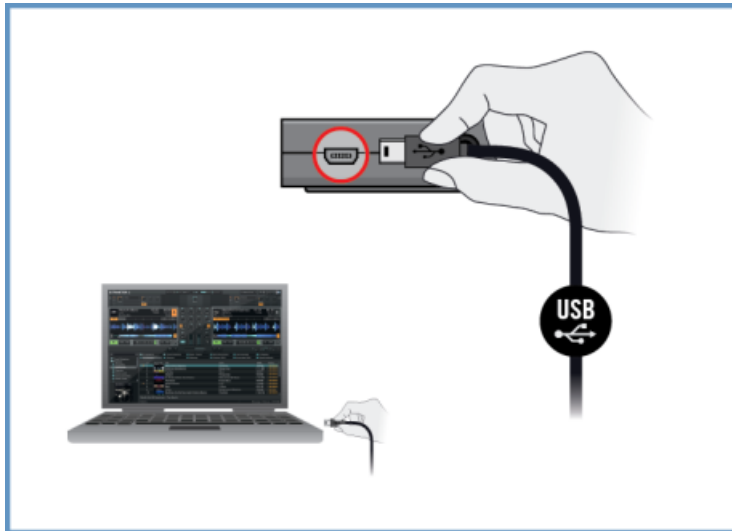
1. 使用しているコンピュータ上でダウンロードしたインストーラーパッケージを確認し、開きます。

2. **Traktor Audio 2 MK2 Driver Setup PC.exe** という名前のインストールファイルをダブルクリックしてください。
  3. スクリーンで表示される手順に従ってください。
- インストールが終わったら、セクション [↑ 6.2, TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータに接続する](#) に進んでください。

## 6.2 TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータに接続する

TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータに接続する方法は以下です。

1. ミニ USB ケーブルのミニ USB コネクタを TRAKTOR AUDIO 2 のリアパネルのミニ USB 端子に接続してください。
2. ミニ USB ケーブルのコンピュータ接続用端子をコンピュータの USB ポートに接続します。



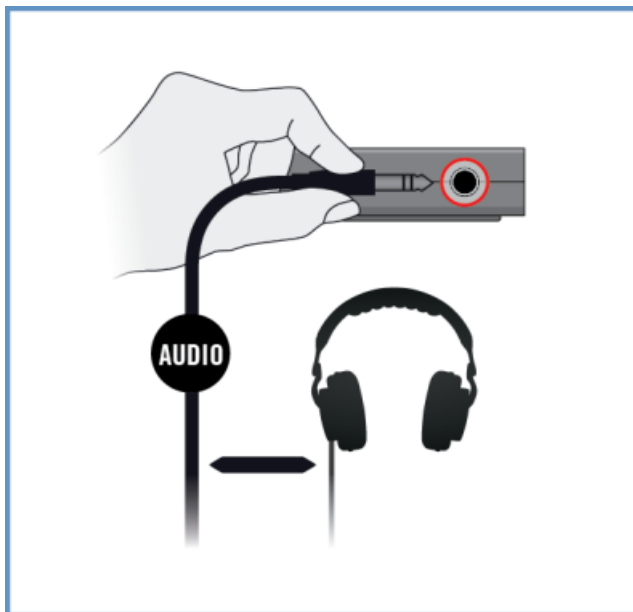
新規ハードウェアの検知により、Windows 機器ドライバインストール作業を完了します。

- ・ Installing device driver software (機器ドライバソフトウェアをインストール中です) といった内容のメッセージが表示されます。
- ・ 機器ドライバインストールが終了すると、Windows が “Your devices are ready to use (機器の使用が可能な状態となりました)” といった内容のメッセージが表示されます。

## 6.3 TRAKTOR AUDIO 2 にヘッドフォンを接続する

TRAKTOR AUDIO 2 とヘッドフォンを接続する方法は以下です。

1. TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにあるヘッドフォンアウトプット端子にヘッドフォンを接続します。

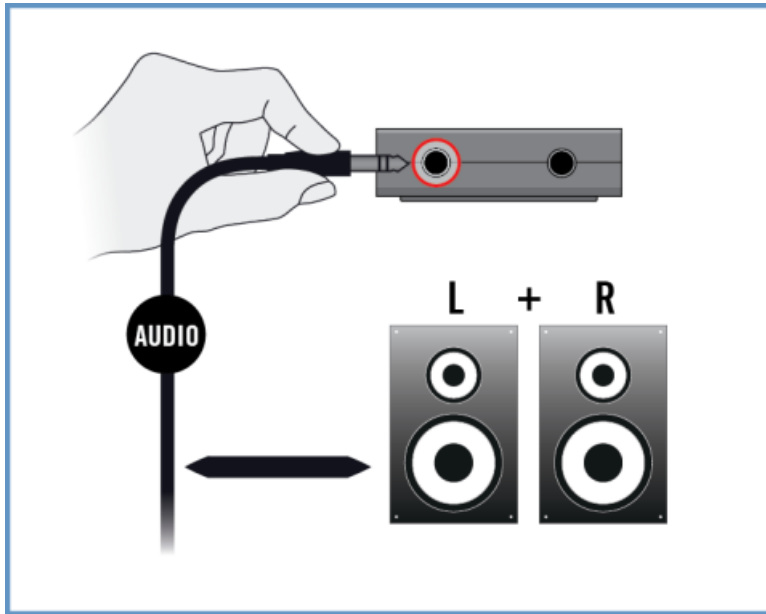


## 6.4 アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 を接続する

TRAKTOR AUDIO 2 をパワーアンプやアクティブスピーカーに接続する方法は以下です。

1. アンプシステムの電源を落としてください。

2. アンプシステムと TRAKTOR AUDIO 2 のフロントパネルにある MAIN アウトプット 端子を適切なケーブルを用いて接続します。



## 6.5 Mac OS X での最終設定

1. スクリーンの左上隅の灰色の Apple Icon メニュー下にある System Preferences (システム環境設定)を開きます。
  2. Hardware(ハードウェア、上から 2 番目)で Sound(サウンド)を選択します。
  3. Sound (サウンド)コントロールパネルで Output (出力)タブを選択します。
  4. サウンドカードのリストから TRAKTOR AUDIO 2 MK2 を選択します。
  5. パネルを閉じます。
- ⇒ これで TRAKTOR AUDIO 2 をデフォルトオーディオ機器として指定したことになります。

## 6.6 Windows での最終設定

1. Start > Control Panel > Hardware and Sound > Sound と進みます。

2. Sound コントロールパネルで Playback タブを選択します。
  3. アウトプットチャンネルとして Traktor Audio2 MK2 Main を選択します。
  4. Set Default をクリックします。
  5. OK をクリックして選択内容を適用し、ウインドウを閉じます。
- ⇒ これで TRAKTOR AUDIO 2 をデフォルトオーディオ機器として指定したことになります。

## 6.7 音楽ソフトウェアとともにオーディオアウトプット機器として TRAKTOR AUDIO 2 を使用する

音楽制作ソフトウェアや DJ ソフトウェア用に TRAKTOR AUDIO 2 を使用する前に、注意する点があります。

- ・ TRAKTOR を Windows システムの音楽ソフトウェアとともに使用する際は、TA2 ハードウェアドライバと最新の TRAKTOR ソフトウェアがインストールしてあるか確認、または以下のセクション [↑6.1, Windows でドライバソフトウェアをインストールする](#) で解説するように TA2 をコンピュータに接続する前に TA2 ハードウェアドライバーをダウンロード、インストールする必要があります。
- ・ その後ソフトウェアのアウトプット機器として設定する必要があります。ほとんどの音楽制作、DJ ソフトウェアではそれらのプログラムの環境設定ダイアログにあるオーディオと MIDI 設定セクションで直接サウンドカードプロパティにアクセスすることが可能です。
- ・ TA2 ヘッドフォンアウトプットはデフォルトで自動的にメインシグナルをモニターするよう設定されるので、オペレーティングシステムソフトウェアでも TA2 メインアウトを使用することを推奨します。



音楽ソフト等のサウンドをヘッドフォンに送信するには TA2 ヘッドフォンアウトプットを選択します。このためには TA2 のリアパネルの方向にキューミックスエンコーダーを回しきる必要があります。これで音楽ソフトからのヘッドフォン音声のみをモニターすることができるようになります。

オーディオと MIDI インターフェイスの設定に関しては各ソフトウェアの資料を参照してください。



## 7 TRAKTOR AUDIO 2 の詳細設定

### Windows の場合

Windows の詳細設定項目にはコントロールパネルソフトウェアからアクセスします。このソフトウェアは TRAKTOR ソフトウェアのインストール時に、またはドライバソフトウェアのインストールの際にインストールされます。ドライバのインストール後、ハードウェアをコンピュータに接続した後、インターフェイスをデフォルトアウトプット機器として指定した場合(6 参照)はこのコントロールパネル(Control Panel)を開いてください。このセクションではコントロールパネルの各設定機能について解説します。[↑ 7.1, Windows での詳細設定 \(コントロールパネル、Control Panel\)](#)に進んでください。



設定時に問題がある場合は、オーディオトラブルシューティングガイド(Audio Troubleshooting Guide)を参照してください(コントロールパネルの Diagnostics ページにある Information セクションから、またはソフトウェアの資料フォルダから開いてください)。

### Mac OS X の場合

Mac OS X ではオーディオと MIDI の詳細設定は Applications > Utilities フォルダ内にある Mac OS X Audio MIDI 設定で行います。ハードウェアをコンピュータに接続し、インターフェイスをデフォルトオーディオ機器として設定 (6) した後この Audio MIDI 設定を開きます。

[↑ 7.2, Mac OS X での詳細設定](#)に進んでください。



設定時に問題がある場合は、オーディオトラブルシューティングガイド(Audio Troubleshooting Guide)を参照してください(ソフトウェアの資料フォルダからアクセスしてください)。

## 7.1 Windows での詳細設定 (コントロールパネル、Control Panel)

コントロールパネルソフトウェアでドライバの設定を設定変更したり、モニターパフォーマンスの設定、エラーの検出を行うことが可能です。コントロールパネルを開く方法は以下です。

1. Start > All Programs > Native Instruments > TRAKTOR AUDIO 2 MK2 > TRAKTOR AUDIO 2 MK2 Control Panel と進んでください。

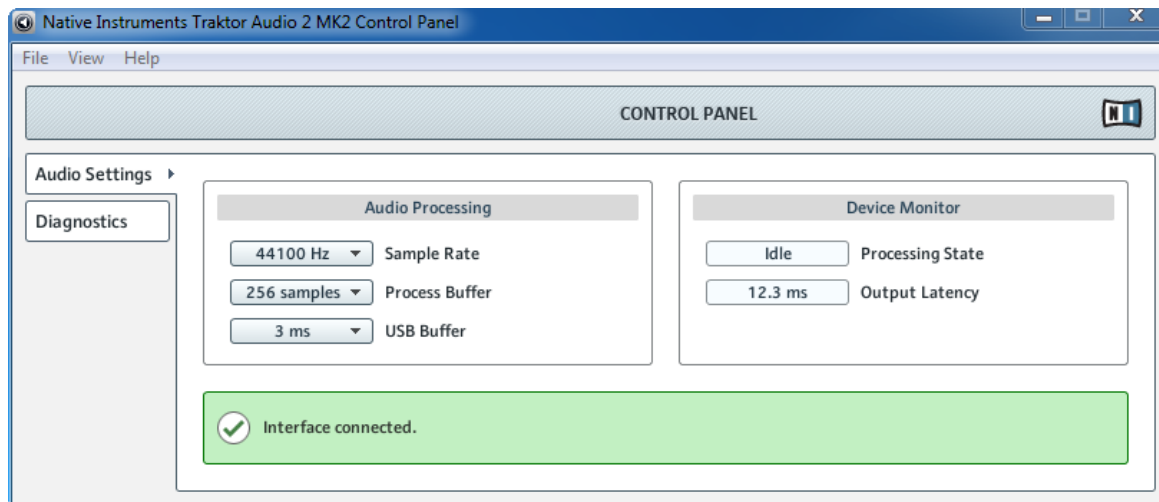
コントロールパネルが見つからない場合はソフトウェアがインストールされていない可能性が高いです。この場合、TRAKTOR またはドライバソフトウェアを [↑6.1, Windows でドライバソフトウェアをインストールする](#) で解説するように再インストール/インストールしてください。

Control Panel の左には Audio Settings と Diagnostics があります。

1. 各タブをクリックして任意のコントロールパネルのページを開いてください。

セクション [↑7.1.1, Audio Settings ページ](#) と [↑7.1.2, Diagnostics ページ](#) に進んでコントロールパネルのページについて参照してください。

## 7.1.1 Audio Settings ページ

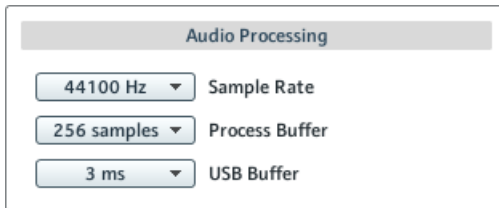


コントロールパネルの Audio Settings ページです。

Audio Settings ページで、オーディオレイテンシー、サンプルレートの設定、機器の状況をモニターします。

Audio Settings ページには 2 つのセクションがあり、それらは、Audio Processing と Device Monitor です。以下のサブセクションで詳細を確認してください。

## Audio Processing セクション



コントロールパネルの Audio Settings ページにある Audio Processing セクションです。

Audio Processing セクションではオーディオインターフェイスによるアナログ/デジタル、デジタル/アナログ変換用各パラメーターを設定します。メニューは 2 つです。

- ・ Sample Rate: 使用している音楽アプリケーションに対応した最適なサンプルレートを選択してください。サンプルレートを高くするほど CPU ロードも高くなります。デフォルトでサンプルレートは 44100 Hz (CD の音声品質と同等) に設定してあります。

機器を用いてソフトウェアを複数同時使用する場合は同じサンプルレートを使用しなくてはならないことに注意してください。

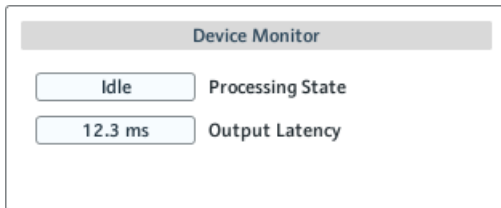
- ・ Process Buffer(プロセスバッファ) : バッファサイズを小さくするほどコンピュータからオーディオソフトウェアに対する反応速度が速くなります。



オーディオをデジタル、またはアナログ変換する場合、オーディオドライバがデータをバッファとして保管する必要があります(オーディオバッファ)、これらは CPU によって処理、送信されます。バッファサイズが大きくなるほど、シグナルがアウトプットまで到達するまでの時間がかかります。顕著な例としてコンピュータのキーまたはコントローラーを操作してから音声が出力されるまでに遅ることがあげられます。この遅れをレイテンシーと呼びます。バッファサイズを下げるほどレイテンシー値も下がります。レイテンシーにはバッファサイズの他にも原因となる要素があります(例、CPU スピードと RAM サイズ)。この設定の際は高いバッファサイズ設定から始め、システムパフォーマンスと音声に問題がなくなるまでこの値を徐々に下げることで設定するとよいでしょう。オーディオインプットに問題が生じる場合は、使用しているコンピュータの CPU では現在のバッファサイズが適切では無いことを意味します。

- ・ USB バッファ: ASIO と WDM ドライバに影響する USB バッファサイズを変更します。USB バッファ (ms) の設定値は、1、2、3、4 で、デフォルト USB バッファは 3ms です。

## Device Monitor セクション

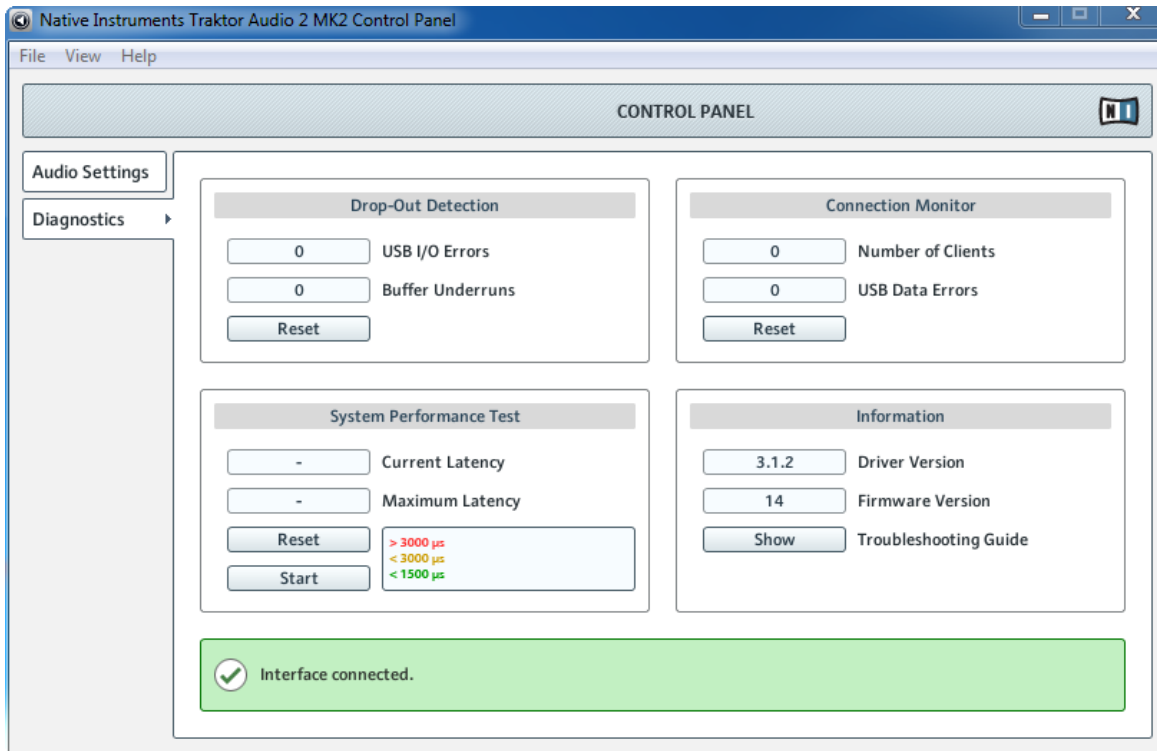


コントロールパネルの Audio Settings ページの Device Monitor セクションです。

Device Monitor セクションではオーディオインターフェイスの処理状況とシステムのアウトプットレイテンシーを表示します。 には 2 つのディスプレイがあります。

- ・ Processing State: このモニターでは機器の現在の状態を表示します。 表示内容は以下の 3 つです。
  - Idle: インターフェイスは接続された状態ですが、オーディオデータは送信されていません。
  - Streaming: ドライバが起動しており、音声を処理していることを示します。
  - Panic: ドライバが起動停止した状態です。これはインターフェイス内のコミュニケーション中に処理しきれない程 USB I/O エラーが生じたことを意味します。
- ・ Output Latency: アウトプットレイテンシーの量をミリセカンド単位で表示します。

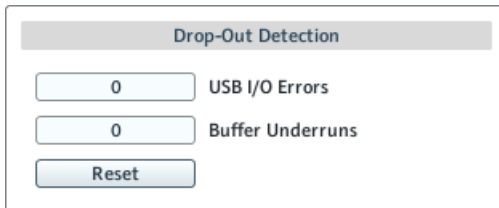
## 7.1.2 Diagnostics ページ



コントロールパネルの Diagnostics ページです。

Diagnostics ページではモニターパフォーマンスとエラー検出を行います。このページにある情報は上級者向けですが、サウンドカードに問題がある場合はこのページを参考にと便利でしょう。Diagnostics ページは 4 つのセクションがあり、それらは Drop-Out Detection、Connection Monitor、System Performance Test、Information となっています。詳細は以下のサブセクションを参照してください。

## Drop-Out Detection セクション



Drop-Out Detection

0 USB I/O Errors

0 Buffer Underruns

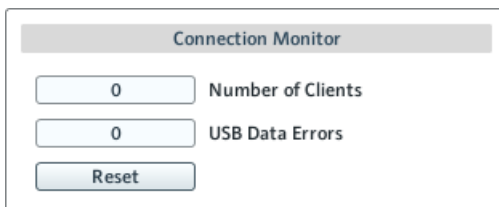
Reset

コントロールパネルの Diagnostics ページの Drop-Out Detection セクションです。

Drop Out Detection セクションには USB インプット/アウトプットとバッファリングエラーに関する情報を備えています。ここには 2 つのディスプレイとボタンがあります。

- ・ USB I/O Errors: USB のインプット/アウトプットエラーを表示します。USB I/O Errors の数値はシステムのオーバーロード回数を表示します。
- ・ Buffer Underruns: バッファアンダーラン(Buffer underruns)はオーディオバッファを正確に処理できなかった場合に生じます。アンダーランはバックグラウンド処理が多すぎる場合、または音楽ソフトウェア内の CPU 消費が多すぎる場合に生じます。バッファサイズ(Audio Settings ページの Audio Processing セクションにある Process Buffer がそれです) の値を大きくすることでアンダーランを防ぐことが可能です。
- ・ Reset: このボタンをクリックしてエラーカウントをリセットします。

## Connection Monitor セクション



Connection Monitor

0 Number of Clients

0 USB Data Errors

Reset

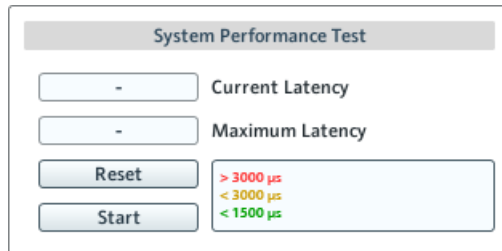
コントロールパネルの Diagnostics ページの Connection Monitor セクションです。

Connection Monitor セクションでは接続してあるクライアントと USB データエラー情報を提示します。ここには 2 つのディスプレイとボタンがあります。

- ・ Number of Clients: インターフェイスに接続してあるクライアントの数を表示します。複数の ASIO アプリケーションは個別に数えられます。WDM と WASAPI では複数の WDM/WASAPI アプリケーションでオーディオを再生していても、単体(1 個)として数えます。

- ・ USB Data Errors: USB データエラーをカウントします。 程度が悪い USB ケーブルの使用、または長い USB ケーブルの使用は USB バスの接続不良の原因となります。
- ・ Reset: このボタンをクリックしてエラーカウントをリセットします。

## System Performance Test Section (システムパフォーマンステストセクション)



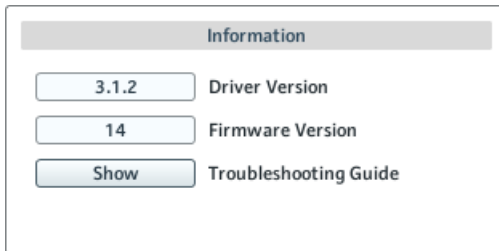
The screenshot shows the 'System Performance Test' section. It contains two input fields for 'Current Latency' and 'Maximum Latency', both showing a hyphen '-'. Below these are two buttons: 'Reset' and 'Start'. To the right of the buttons is a box containing three lines of text: '> 3000 μs' in red, '< 3000 μs' in yellow, and '< 1500 μs' in green.

コントロールパネルの Diagnostics ページの System Performance Test セクションです。

System Performance Test セクションで Windows システムの現在の DPC (Deferred Procedure Call、遅延プロシージャコール) レイテンシー値を提示します。 Deferred Procedure Call は Windows のメカニズムに含まれるもので、重要な処理内容の優先するためのものです。 このセクションには 2 つのディスプレイと ボタンを備えています。

- ・ Current Latency: 現在の DPC レイテンシー値を示します。
- ・ Maximum Latency: モニタリングを開始してからの DPC レイテンシーの最高値を示します。
- ・ Reset : このボタンを押して Maximum Latency 値をゼロにリセットします。
- ・ Start/Stop: このボタンを押して DPC レイテンシー値の計測を開始します。 計測を開始するとこの表示が Stop に変わります。

## Information セクション



コントロールパネルの Diagnostics ページの Information セクションです。

Information セクションではドライバとファームウェアの情報を表示、またここから Audio Troubleshooting Guide へのアクセスも可能です。このセクションには2つのディスプレイとボタンがあります。

- ・ Driver Version: ドライバのバージョンをここで確認します。
- ・ Firmware Version: ファームウェアのバージョンをここで確認します。
- ・ Troubleshooting Guide: Show をクリックしてオーディオトラブルシューティングガイド (Audio Troubleshooting Guide)を開きます。

## 7.2 Mac OS X での詳細設定

オーディオと MIDI の詳細設定は Mac OS X Audio MIDI 設定で行います。



設定時に問題がある場合は、オーディオトラブルシューティングガイド(Audio Troubleshooting Guide)を参照してください(ソフトウェアの資料フォルダからアクセスしてください)。

Audio MIDI Setup ユーティリティは以下の方法で表示します。

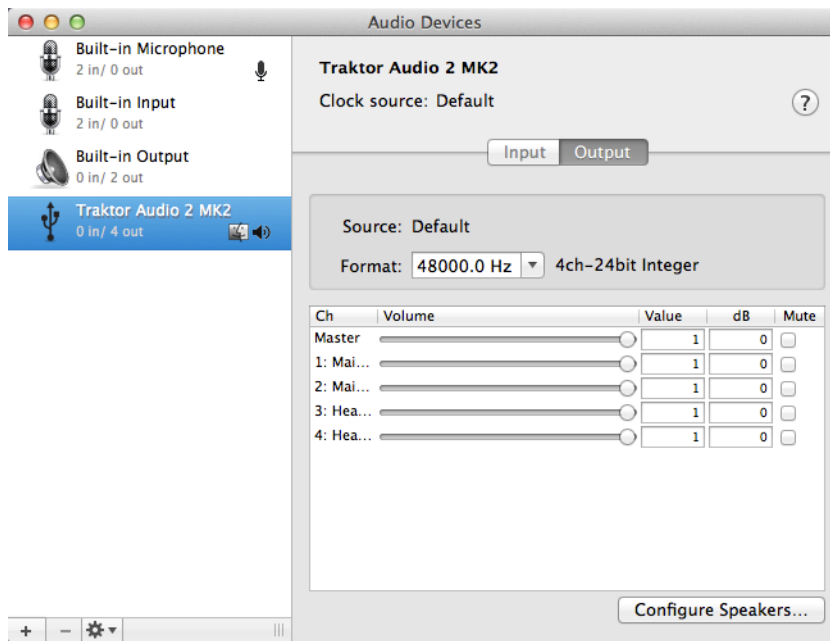
1. Applications > Utilities > Audio MIDI Setup と進んでください。

⇒ Audio Devices と明記された Audio MIDI Setup ユーティリティが表示されます。

画面の左半分ではコンピュータにインストールしてある異なるハードウェアとソフトウェアの各インとアウトを表示します。ここで何も選択していない場合は、Traktor Audio 2 MK2 を選択します。



## Output Pane (アウトプットペイン)



Mac OS X の Audio MIDI Setup ユーティリティの Output ペインです。

Audio MIDI Setup の Output ペインでサンプルレートの設定を行います。ここに関連する設定項目は Format ドロップダウンメニューです。

- ・ Format: 音楽ソフトと使用しているコンピュータの処理性能に適したサンプル レートを選択します。サンプルレートを高くするほど CPU ロードも高くなります。

## Input Pane (インプットペイン)

TA 2 にはインプットが無いので、Audio MIDI Setup ユーティリティ内でこの部分は灰色表示のままとなります。

## 8      トラブルシューティングと FAQ

このセクションの では TRAKTOR AUDIO 2 使用時に起きるほとんどの問題の解決方法をカバーしています。

### 8.1      ハードウェアに関する問題の解決法

Native Instruments の全製品は開発の段階から実際の使用状況を想定して繰り返しテストを行っています。ですが、ハードウェアで万が一問題が生じた場合は、以下の項目をチェックしてください

- ・ 最新版のドライバと最新版のソフトウェア・アップデートをインストールしているか確認してください。各情報を Native Instruments のウェブサイトを確認してください。
- ・ TRAKTOR AUDIO 2 を直接 USB ポートに接続しており、USB ハブを介していないか確認してください。
- ・ TA2 に同封してあるケーブルを使用してください。
- ・ コンピュータから他の全 USB デバイスの接続を解除してください（キーボードとマウスは除く）。
- ・ コンピュータの他の USB ポートを試してください。

以上のヒントが有効ではなかった場合は、当社のテクニカルサポートチームにご連絡ください。連絡先に関する詳細は以下の URL <http://www.native-instruments.com/contactinfo> で確認してください。 TRAKTOR AUDIO 2 を返却する際、Native Instruments 社のテクニカルサポートチームが RA 番号を交付(Return Authorization、返品確認)します。この RA ナンバーがないまま返品したパッケージは正しく認識されず、そのような場合は適切に処理されませんのでご注意ください。

### 8.2      Windows で TRAKTOR AUDIO 2 ドライバが正しくインストールされているか確認する方法

Start > All Programs > Native Instruments > TRAKTOR AUDIO 2 MK2 と進んでください。そこにはヘルプアプリケーションである TRAKTOR AUDIO 2 MK2 コントロールパネルアプリケーションが設置してあります。機器がコンピュータに接続してあるのを確認してからコントロールパネルを開きます。メニュー項目の全てがグレーの場合(例、プリセットドロップダウンリストにプリセットが表示されない場合や、選択できるサンプルレート値がない場合)は接続に問題があることを意味します。スタートメニューの Native Instruments フォルダに TRAKTOR AUDIO 2 MK2 エントリがない場合は、ドライバがインストールされていない可能性が非常に高いでしょう。

- ・ ドライバをインストールしていない場合、[↑6.1, Windows でドライバソフトウェアをインストールする](#)で解説したようにインストールを行ってください。

- ・ ドライバが認識されない場合は、4 を参照して USB 接続を確認してください。
- ・ 他の USB デバイスと同様、ドライバは接続している USB ポート用にインストールされます。他のポートに TRAKTOR AUDIO 2 を接続する場合は、標準的な Windows ダイアログが開き、そのポートヘドライバをインストールできるようになります。すでにドライバをインストールしたことがある場合は、Windows が正しいドライバを探し、ドライバを見つけ次第インストールを開始します。インストール作業をキャンセルすると、ドライバはインストールされないのそのポートは正しく機能しません。
- ・ ドライバを正しくインストールしたか不明な場合は TRAKTOR AUDIO 2 のセットアッププログラムをもう一度起動することを推奨します(↑6.1, Windows でドライバソフトウェアをインストールする参照)。セットアッププログラムが、ドライバをまずアンインストールする必要があると表示される場合は、すでにコンピュータにドライバをインストールしてあるということを意味します。この場合 USB ポートのどこにでも接続可能で、Windows は TRAKTOR AUDIO 2 を他の USB ポートにインストールする際に適切なドライバを検出します。

## 8.3 USB のトラブルシューティング

TRAKTOR AUDIO 2、及び使用しているコンピュータ間で USB 接続に問題が生じている可能性が高い場合は、まずこのセクションを確認してください。ここでは、いくつかの USB の問題に対応しています。

### 電源供給が付いた USB ハブを使う

TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータの USB ポートに接続してください。場合によっては電源付 USB ハブでは正常に機能する場合があります(例、オンボード USB ポートに TRAKTOR AUDIO 2 を接続しても正しく機能しない場合)。

### 推奨する USB-ポート (MacBook のみ)

Mac ラップトップ(MacBook and MacBook Pro)の最新の推奨リストは、以下のナレッジベースの記事を参照してください。 <http://www.native-instruments.com/knowledge/questions/263>

### USB 省エネモードの無効化 (Windows のみ)

TRAKTOR AUDIO 2 が Windows でくラッシュする、または正常に機能しない場合は、USB ハブに対する省エネ設定項目を無効にしてください。無効にするための方法は Windows の資料を参照して下さい。

### ドライバのアップデート

問題が生じた場合は、まず使用しているソフトウェアが最新のものであるか確認してください。アップデートはウェブサイトの製品ホームページを参照して下さい。 <http://www.native-instruments.com>

## 8.4 物理的に TRAKTOR AUDIO 2 を再設定する

TRAKTOR AUDIO 2 をコンピュータの他の USB ポートに接続します。最も正確に機器が機能する USB ポートを使用してください。

## 8.5 IRQ のチェック(Windows のみ)

IRQ は Interrupt Request の略称です。これは Windows がシステム内のポートと各機器をリソースに割り当てる機能です。使用している TRAKTOR AUDIO 2 ポートが他の機器の IRQ を共有している場合、IRQ 障害が生じる可能性があります。Native Instruments ウェブサイトのナレッジベース、またはサポートにコンタクトして詳細を確認してください。

このセクションには最も頻繁に質問される内容に関して表示しています。Native Instruments ウェブサイトのサポートセクションのナレッジベースに進んで検索フィールドで記事番号 (article number) を入力してください。

## 8.6 アップデートインストーラーがインストールフォルダを見つけないことができない

ハードウェアで Native Instruments アプリケーションを手動で移動した場合、アップデートを行うインストーラーはエラーメッセージを表示してインストール作業を中断します。サービスセンターの Overview タブを確認してアプリケーションパスを修正してください。アプリケーションが見つからない場合は、Locate ボタンがこのタブに表示されます。このボタンをクリックしてアプリケーションが実際にある位置を認識させます。

## 8.7 トラック再生中にクリックや、オーディオドロップアウトが生じる

トラックの再生中にクリックや、オーディオドロップアウトが生じる場合は TRAKTOR AUDIO 2 のレイテンシー設定を調整する必要があります。設定方法についてはマニュアルで、オーディオインターフェイスの設定を行う TRAKTOR AUDIO 2 MK2 コントロールパネルに関して解説しているセクションを参照してください。

### 関連項目

📖 TRAKTOR AUDIO 2 の詳細設定 [→ 49]

## 8.8 更なるトラブルシューティングの為の資料

ここまでで問題が解決しない場合は、TRAKTOR 2 マニュアルを参照し、このセットアップガイドではカバーしていない更なる詳細解説を参照してください。 また、ナレッジベースも参考にしてください。 <http://www.native-instruments.com/knowledge>

## 9 追加資料

### 9.1 各資料について

TRAKTOR に付属する各資料は以下となっています。

- ・ **TRAKTOR Getting Started** には TRAKTOR の基本操作方法を記載しています。
- ・ **TRAKTOR マニュアル**には TRAKTOR ソフトウェア各機能の詳細と各追加情報 (問題解決へのヒント、各仕様情報等) を記載しています。

これらの各 TRAKTOR 用資料はソフトウェアのインストール時に作成されるドキュメント専用フォルダに収納され、また Native Instruments ウェブサイトからアクセスすることもできます。これらの資料は TRAKTOR ソフトウェアの Help メニューからアクセスすることも可能です。

TRAKTOR DJ には **TRAKTOR DJ InApp Help** があります。ここには TRAKTOR DJ の基本操作方法を記載しています。

### 9.2 ナレッジベース / リードミー / オンラインサポート

1. サービスセンター (Service Center) アプリケーションを起動して右上隅にあるサポート (Support) ボタンをクリックします。ここには Native Instruments オンラインナレッジベース (**Online Knowledge Base**) と **オンラインサポートフォーム** () へのダイレクトリンクを用意しています。

オンラインナレッジベースでは Native Instruments 製品の有用な情報をまとめており、また Native Instruments 製品を使用する際に生じる問題の解決の糸口となるヒントを多数用意しています。

問題をナレッジベースで解決できない場合は、オンラインサポートフォーラムを使用して Native Instruments のテクニカルサポートチームに相談することも可能です。オンラインサポートフォームで使用しているハードウェア、ソフトウェアについてお答えください。ここでの情報は今後サポートチームが問題発生時に効率よく対応する為の資料となります。

Native Instruments サポートチームとコンタクトをとる際、ハードウェア、オペレーションシステム、使用しているソフトウェアのバージョン情報、問題の詳細をチームに伝えることが問題を解決する為に非常に有効となります。情報として提示すべき情報は以下となっています。

- ・ 問題に到達するまでの操作手順
- ・ 問題解決するために自分で試した解決策
- ・ ハードウェアを含む使用しているセットアップの内容
- ・ 使用しているコンピュータの機種を含む正確な情報

新規ソフトウェア、またはソフトウェアをインストールした場合、Readme ファイルに資料に含まれていない最新情報を書き添えてある場合があります。テクニカルサポートにコンタクトする前に Readme をお読みください。

## 9.3 フォーラム

Native Instruments ユーザーフォーラムでは他のユーザーやフォーラムの中心人物となるフォーラムの専門家と製品について直接会話することが可能です。

<http://www.native-instruments.com/forum>

## 9.4 アップデート

問題に直面した場合は、まずソフトウェアのアップデートを確認、ダウンロードし、インストールすることをお勧めします。アップデートは頻繁に起きる問題を解決、ソフトを向上させる為に定期的に行います。ソフトウェアのバージョン番号は Native Instruments 各アプリケーションの About ダイアログで表示可能です。このダイアログはユーザーインターフェイスの右上隅の NI ロゴをクリックしても開くことができます。更にインストールしてある全 Native Instruments アプリケーションのバージョン番号はサービスセンターの製品一覧ページでも確認することができます。アップデートはサービスセンターのアップデートページ、または 以下当社ウェブサイトから行うことも可能です。 <http://www.native-instruments.com/updates>

## 10 技術仕様書

### サポートドライバ

- ・ ASIO
- ・ Code Audio
- ・ DirectSound
- ・ WASAPI

### 寸法

- ・ 寸法: 84,3 x 55 x 16,2mm / 3.3 x 2.17 x 0.63"
- ・ 重量: 68g / 0.15lbs

オーディオコンバーター (Inputs A/D)	
Channels D/A	4
Channels A/D	0
サンプルレート	44.1, 48Hz
ビット解析度	24Bit

ラインアウトプット	
最大アウトプットレベル	+11.7dBu
ダイナミックレンジ (A weighted)	103 dB
THD+N (Max. Level)	20Hz - 20kHz
クロストーク @ 1kHz to next channel	-105dB



ヘッドフォンアウトプット	
負荷インピーダンス	8Ohms - 6000hms
最大アウトプットレベル	+5dBu dB @ 320hms
ダイナミックレンジ (A weighted)	102dB
THD+N (Max Level, high Imp, 1000hms)	0.004%
周波数特性 $\pm$ 1.4 dB	20Hz - 20kHz

## パワーサプライ

USB インターフェイスによる電源供給、コンピューターからの 5V 500mA バスパワー- 外部電源は必要ありません。iOS デバイスによる低電源操作も可能です。追加電源を使用することで iOS デバイスをフル稼働します (アウトプットボリュームが大きくなり、同時に iOS デバイスを充電します)。

## 各ソケット

- ・ 1 ステレオ 1/8" (3.5mm) フォノ端子用ヘッドフォンソケット
- ・ 1 ステレオ 1/8" (3.5mm) フォノ端子用 MAIN ソケット
- ・ 1 ミニ USB タイプ B ソケット
- ・ 1 DC 電源ソケット

## 環境仕様

- ・ 作業可能気温 +5 から +35 °C (41 から 95 °F) (85% 凝縮湿度では無い通常湿度)
- ・ 保管気温 0 °C から 40°C (32°F から 104°F) (85% 凝縮湿度ではない通常湿度)

高い湿度の場所、直射日光の当たる場所で本機を設置しないでください。

---

## 11 ハードウェア返却

どんな製品でも返品を行う際は必ず事前にテクニカル・サポート・チームへご連絡ください。製品を返却する場合はテクニカルサポートチームが RA (Return Authorization、返品確認) をし、迅速に対応します。

### NATIVE INSTRUMENTS テクニカルサポートへのコンタクト

<http://www.native-instruments.com/support>